



2023 年度版

あいち観光戦略に基づく 観光振興施策の実施状況

(2022 年度年次報告書)



本書は、愛知県観光振興基本条例第 9 条第 6 項の規定に基づき、愛知県観光振興基本計画に定められた観光振興に関する施策の 2022 年度の実施状況に関する報告を行うものです。

目次

あいち観光戦略 2021-2023 の概要	1
1 数値目標の進捗状況	3
(1) 観光消費額	4
(2) 観光入込客数【量】	5
(3) 観光消費額単価【質】	7
2 2022 年度の観光振興施策の実施状況	10
柱 1 あいち「ツウ」リズムの推進	10
柱 2 受入れ体制の整備・充実	24
柱 3 観光交流拠点としての機能強化	27
柱 4 MICE の誘致・開催、Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)の活用	29
柱 5 持続可能な観光の実現	33
柱 6 ウィズコロナ・ポストコロナへの対応	36
3 2023 年度の主要な観光振興施策	38
柱 1 あいち「ツウ」リズムの推進	38
柱 2 受入れ体制の整備・充実	41
柱 3 観光交流拠点としての機能強化	42
柱 4 MICE の誘致・開催、Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)の活用	43
柱 5 持続可能な観光の実現	44
柱 6 ウィズコロナ・ポストコロナへの対応	45

* 本報告書は、主な事業を抜粋して掲載しているため、全ての施策、事業が掲載されているものではありません。

あいち観光戦略 2021-2023 の概要



3
目指す
べき姿

～ “Heart” of JAPAN セカンドステージ ～
あいち「ツウ」リズム™を推進し、独自の強みを発揮する「観光県」

4
施策立案・実施にあたって
の基本的な方針

独自の魅力・強みの強化

- ◆ 愛知ならではの資源の深掘り・磨き上げ
- ◆ ジブリパーク開業効果の活用
- ◆ リニア開業効果の活用の検討

EBPMの実践とデジタルの活用

- ◆ エビデンスに基づく施策立案・実施と分析・評価
- ◆ デジタルを活用した効果的なPR・プロモーション
との確な効果測定等

地域連携・県民参加とSDGsの実践

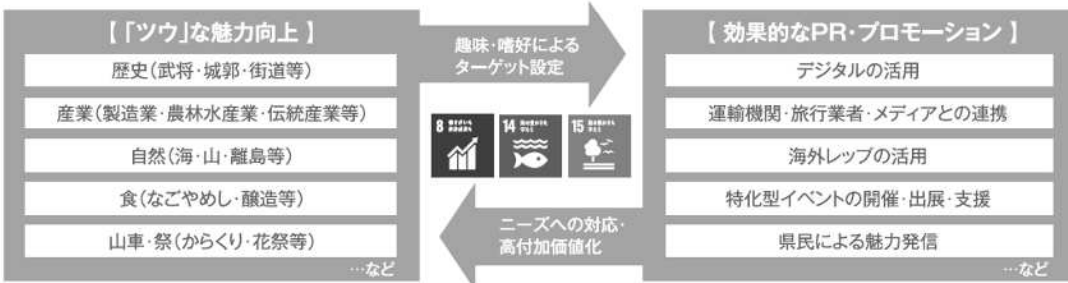
- ◆ 市町村や地域の観光関係団体との連携
- ◆ 県民参加の促進
- ◆ 多様な主体との連携
- ◆ SDGsの理念に基づく持続可能な観光の実現

ウィズコロナ・ポストコロナへの適応

- ◆ 新しい生活様式・新しい旅行スタイルへの対応
- ◆ 観光の再生に向けた取組

5
施策の柱

① あいち「ツウ」リズム™の推進



② 受入れ体制の整備・充実

- ◆ 多言語化の促進等による利便性の向上
- ◆ 多様な宗教・信条等への対応支援
- ◆ 多様な旅行・宿泊ニーズへの対応
- ◆ ユニバーサルツーリズムの推進
- ◆ 旅行者の安全・安心の確保



③ 観光交流拠点としての機能強化

- ◆ 周遊観光・広域観光の推進
- ◆ 航空路線・外航クルーズ船の誘致
- ◆ モビリティ・マネジメント
- ◆ 交通インフラの整備



④ MICEの誘致・開催、Aichi Sky Expoの活用

- ◆ 国際会議・展示会の誘致・開催
- ◆ イベントの誘致・開催
- ◆ インセンティブツアーの誘致
- ◆ スポーツ大会の招致・開催



⑤ 持続可能な観光の実現

- ◆ 「日本版持続可能な観光ガイドライン (JSTS-D)」の普及
- ◆ 観光人材の確保・育成
- ◆ 観光イノベーションの促進
- ◆ 取組体制の構築



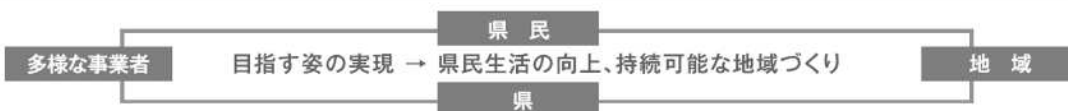
⑥ ウィズコロナ・ポストコロナへの対応

- ◆ 安全・安心の強化と感染状況に応じた誘客
- ◆ 旅行スタイルの変化への対応と観光コンテンツの高付加価値化

6
数値目標



7
体制



1 数値目標の進捗状況

あいち観光戦略において、計画最終年度(2023年度)の目標として掲げた指標に対する進捗状況は、下表のとおりであった。

		2019年 実績	2021年 実績	2022年 実績	目標値 (2023年)
観光消費額	全 体	8,599 億円	4,502 億円	6,997 億円	1.0 兆円
	外 国 人	2,397 億円	—*2	8 億円	2,500 億円
観光入込客数	全 体	1.2 億人回	0.8 億人回	0.9 億人回	1.2 億人回
	外 国 人	378 万人回	5 万人回	22 万人回	380 万人回
来県外国人旅行者数		287 万人	—*3	—*3	290 万人
延べ宿泊者数	全 体	1,934 万人泊	1,134 万人泊	1,581 万人泊	2,000 万人泊
	外 国 人	363 万人泊	11 万人泊	34 万人泊	365 万人泊
国際会議開催件数		216 件 (2018年)	11 件 (2020年)	0 件 (2021年)	220 件
観光消費額単価	日 本 人	5,404 円	5,375 円	7,482 円	6,450 円
	外 国 人	63,413 円	—*4	3,636 円*4	65,790 円
満足度 (「非常に満足」 の割合)	全 体	28.1%	31.8%	33.4%	50.0%
	外 国 人	38.9%	—*5	—*5	50.0%
推奨意向 (高位層*1)	県 民	12.4%	20.9%	17.7%	25.0%
	県外在住者	21.2%	30.1%	23.2%	50.0%
再訪意向	県外在住者	83.7%	82.6%	83.4%	100.0%

*1 「愛知の観光をまったく推奨しない」を0点、「とても推奨したい」を10点とした場合に、9～10点と回答した層。

*2 観光庁「訪日外国人消費動向調査」が一部実施されなかったことから訪日外国人の観光消費額単価を欠測としている。そのため、2021年の外国人の消費額は欠測。(消費額=観光入込客数×観光消費額単価)

*3 来県外国人旅行者数を算出する因子のひとつである「都道府県別訪問率」を測定する観光庁「訪日外国人消費動向調査」の一部が実施されなかったため2021年及び2022年の来県外国人旅行者数は欠測。

*4 観光庁「訪日外国人消費動向調査」の一部が実施されなかったため、2021年の外国人の消費額単価は欠測。2022年も同様の状況であったが、愛知県「愛知県観光入込客統計」における推計を記載。

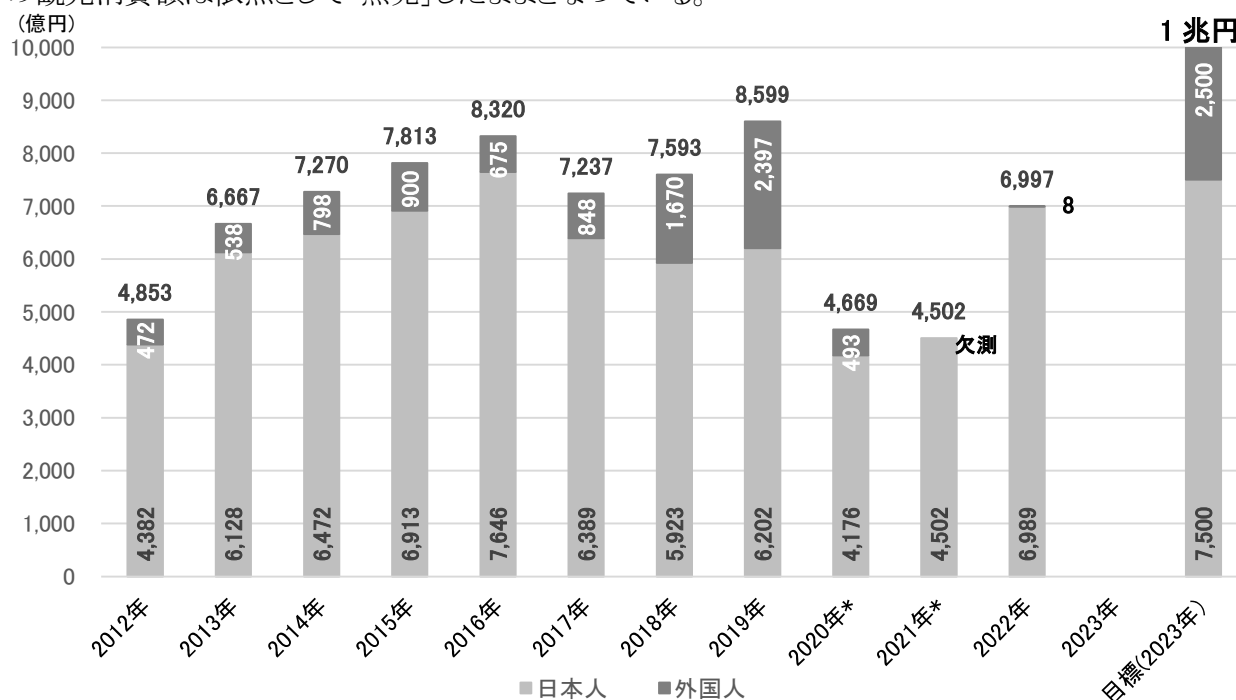
*5 新型コロナウイルス感染症の影響で「満足度(外国人)」を測定する愛知県「愛知県訪日外客動向調査」が実施できなかったため、2021年度及び2022年度の「満足度(外国人)」は欠測。

KGⅠ(Key Goal Indicator: 重要目標達成指標)達成状況

2022 年の本県の観光は、2020 年以降のコロナ禍からの回復傾向が鮮明となり、特に、全国旅行支援などの政策的な需要喚起が図られた国内観光においては、コロナ禍前の水準を超える指標もあった。しかしながら、インバウンドを含めた全体では、コロナ禍前の水準を回復するには至っていない。

(1) 観光消費額

日本人の観光消費額は、コロナ禍前の 2019 年を上回るほどの水準に達した一方、外国人旅行者の観光消費額は依然として「蒸発」したままとなっている。



出典:観光庁「訪日外国人消費動向調査」、愛知県「愛知県観光入込客統計」より算出

*2020 年は、県「観光地点パラメーター調査」等が一部実施できなかったことから 2019 年推計値等を参考に年間値を算出している。

*2021 年は観光庁「訪日外国人消費動向調査」が一部実施されなかったことから訪日外国人の観光消費額単価を欠測としている。そのため観光入込客数と観光消費額単価から算出する観光消費額も欠測。

【参考】居住地・宿泊/日帰り別観光消費額の推移

2021 年と比較して 2022 年は、県内在住者による県内宿泊旅行者の伸びが 1.4 倍以上、県外在住者の宿泊旅行者は 1.7 倍以上に伸びている。国による地域観光事業支援を活用した「あいち旅 e マネーキャンペーン」、「LOVE あいちキャンペーン」(いわゆる県民割)や「いいじゃん、あいち旅キャンペーン」(全国旅行支援)の効果があったことが推察される。

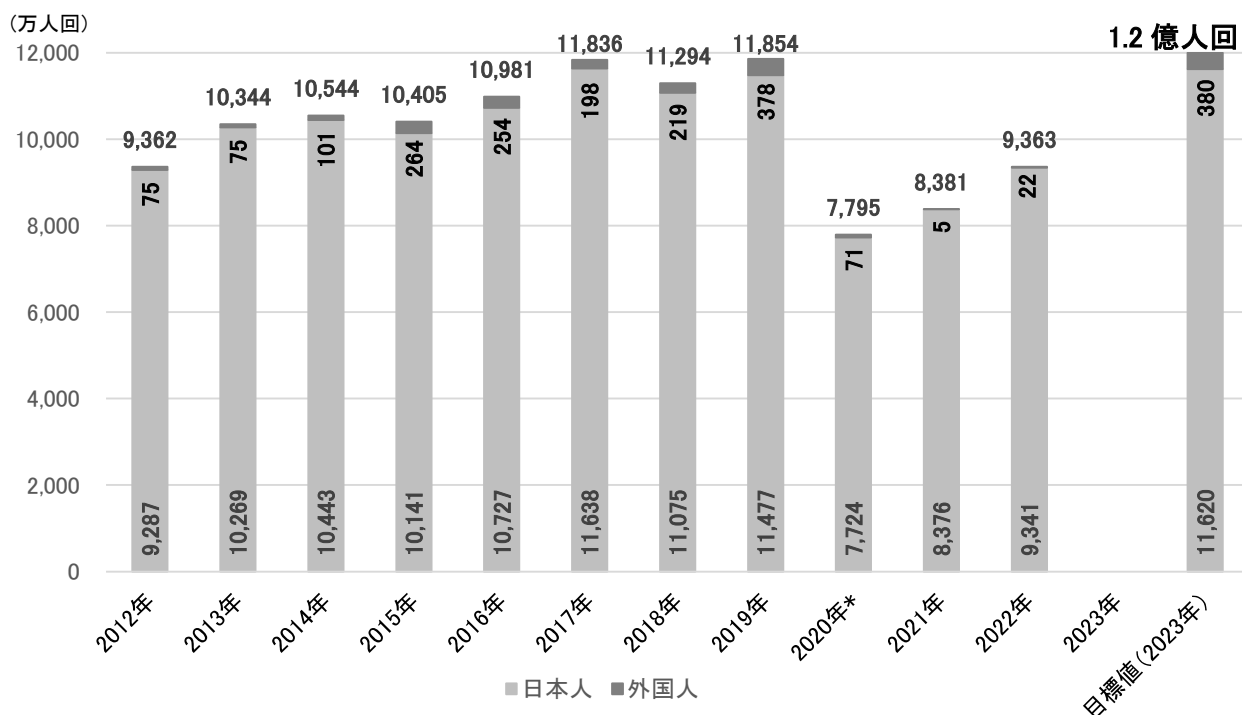
	2021 年(百万円)	2022 年(百万円)	2022/2021 年比
県内在住者・宿泊	87,590	126,786	144.7%
県内在住者・日帰り	154,119	205,967	133.6%
県外在住者・宿泊	149,162	265,156	177.8%
県外在住者・日帰り	59,329	100,957	170.2%
訪日外国人・宿泊*	—	749	—
訪日外国人・日帰り*	—	—	—

出典:観光庁「訪日外国人消費動向調査」、愛知県「愛知県観光入込客統計」より算出

*2021 年は観光庁「訪日外国人消費動向調査」が一部実施されなかったため、訪日外国人の観光消費額は欠測になった。2022 年は愛知県「観光入込客統計」により、宿泊客のみ計測されたため計上。

(2) 観光入込客数【量】

2021年比で、日本人・外国人ともに増加となったが、外国人の絶対数はまだまだ低い水準に留まっており、日本人客による市場の下支え傾向が顕著である。

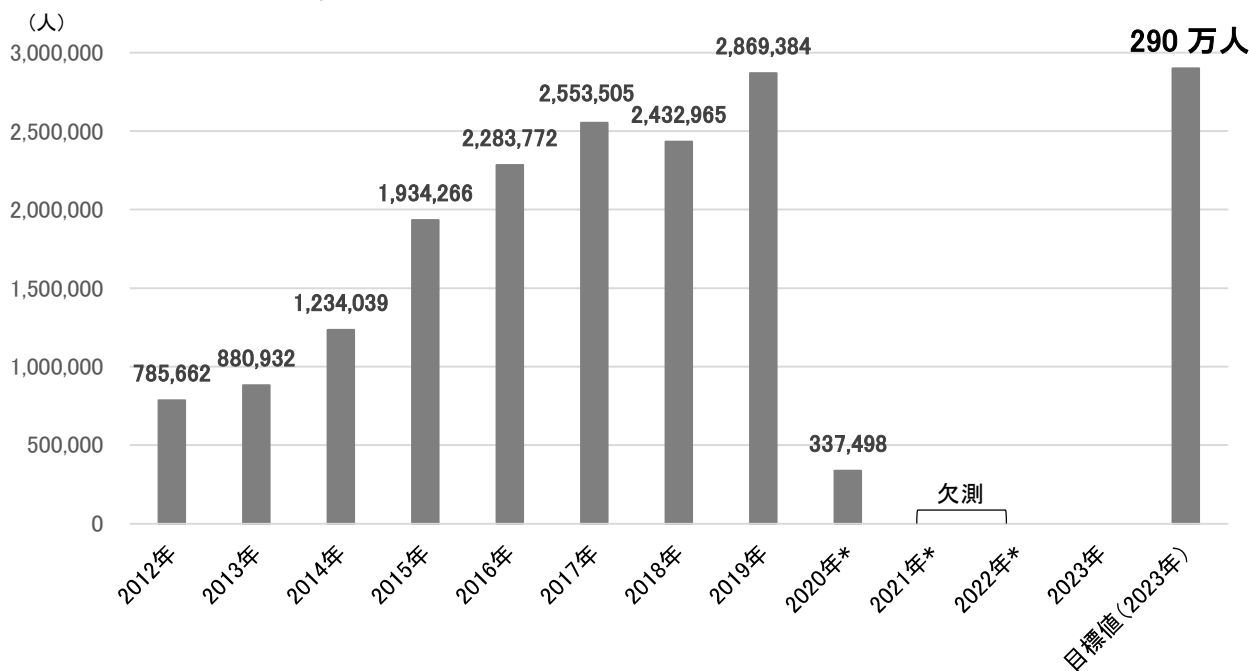


出典：愛知県「愛知県観光入込客統計」

*2020年は、県「観光地点パラメーター調査」等が一部実施できなかったことから2019年推計値等を参考に年間値を算出している。

○来県外国人旅行者数

新型コロナウイルス感染症の影響により、必要な統計調査を行えなかったため、2021年及び2022年は欠測となった。

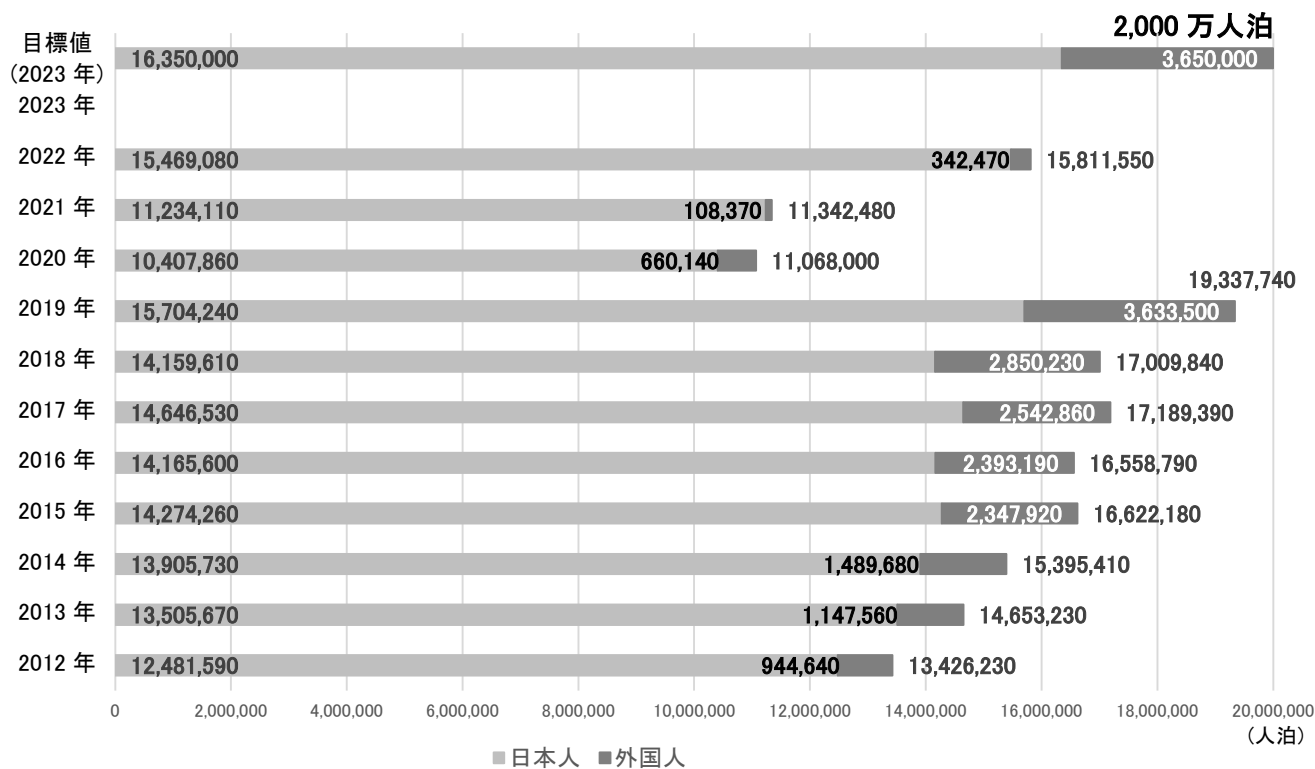


出典：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」より算出

*2020年は、1-3月のみで訪問率を算出。

*2021年及び2022年は観光庁「訪日外国人消費動向調査」が一部実施できなかったことから欠測。

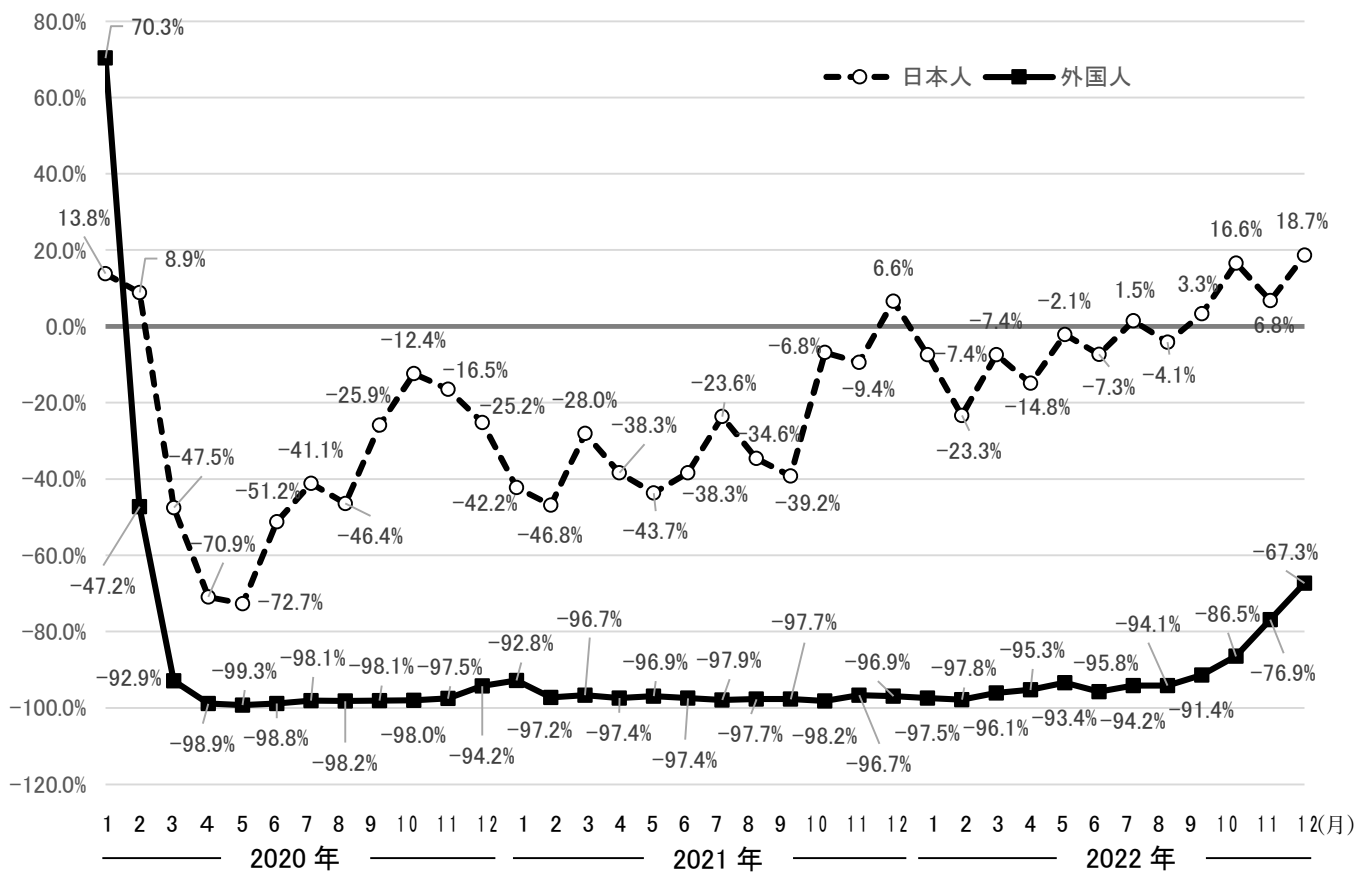
○ 延べ宿泊者数



出典:観光庁「宿泊旅行統計調査」

【参考】延べ宿泊者数の2019年同月比の推移

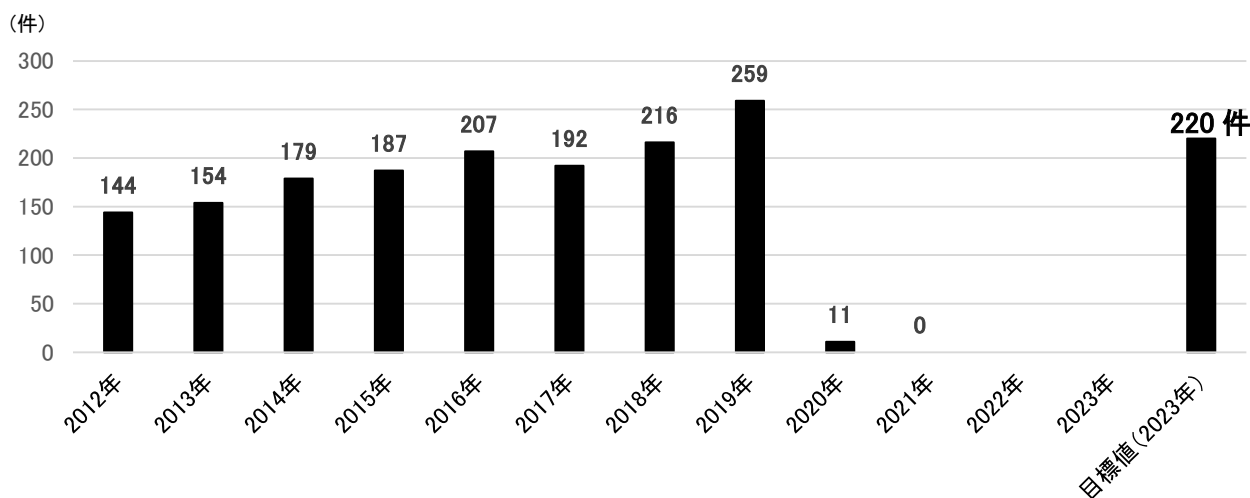
日本人延べ宿泊者数は、2022年9月から継続して2019年水準を超えている。



出典:観光庁「宿泊旅行統計調査」

○国際会議開催件数

愛知県における国際会議の開催件数は増加傾向にあったが、2020年以降は、新型コロナウイルス感染症による往來の制限を受け、大幅に件数が減少している。

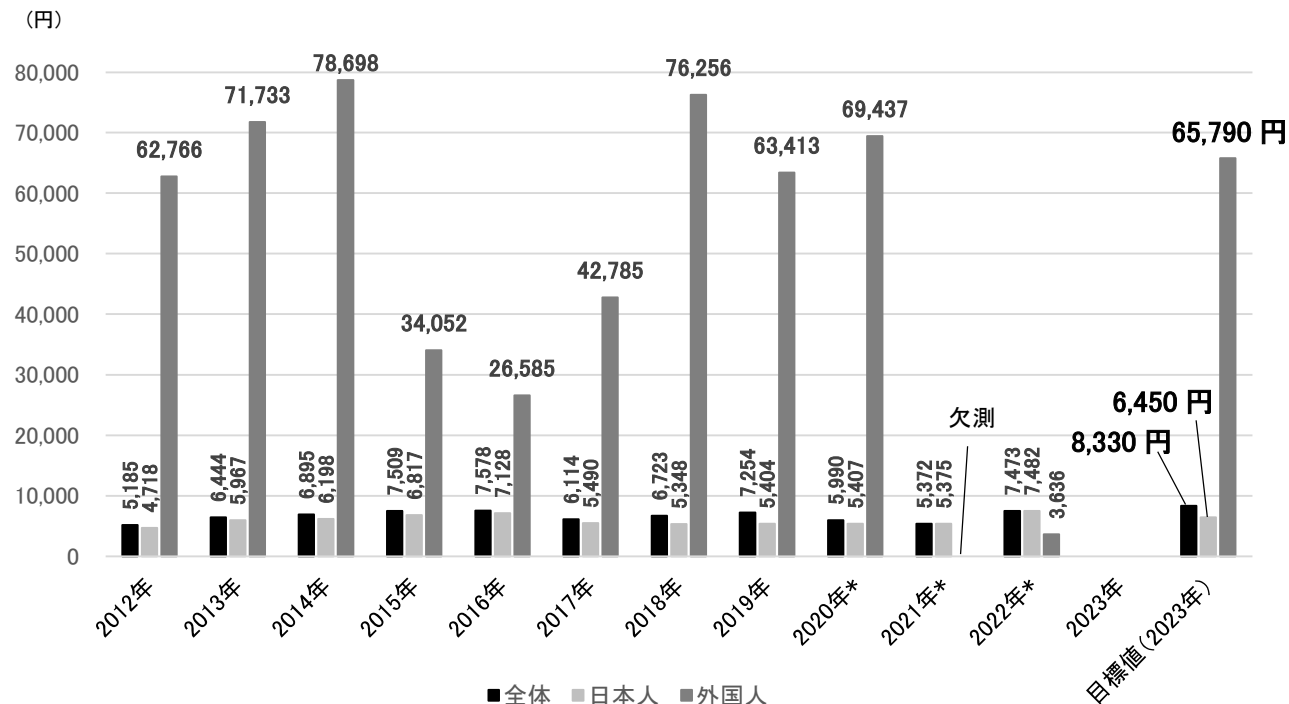


出典：日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」

* 国際会議とは、国際機関・国際団体または国家機関・国内団体(民間企業を除く)が主催する、参加者総数が50名以上、参加国が3か国以上の会議(日本政府観光局(JNTO)の「国際会議選定基準」)。

(3) 観光消費額単価【質】

日本人の観光消費額単価は、2021年と比較して39.2%増と大きく伸び、入込客数の伸び(11.5%増)を大きく上回った。このことから、観光消費額の増加は、客数よりも単価の上昇の寄与度が高かったことが推察される。



出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」、愛知県「愛知県観光入込客統計」

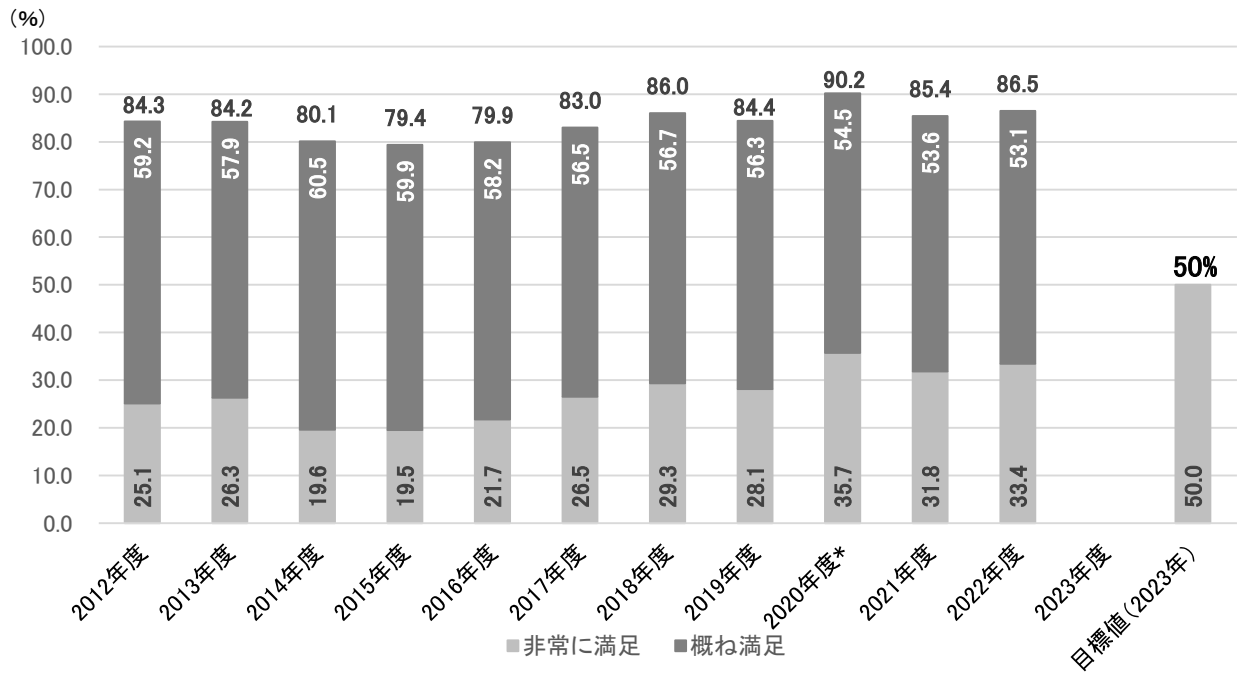
* 2020年は、愛知県「観光地点パラメーター調査」等が一部実施できなかったことから、2019年推計値等を参考に年間値を算出。

* 2021年は観光庁「訪日外国人消費動向調査」及び愛知県「愛知県観光入込客統計」が一部実施できなかったことから、訪日外国人の観光消費額単価は欠測。

* 2022年の外国人観光消費額単価は、観光庁「訪日外国人消費動向調査」が一部実施されなかったため、愛知県「愛知県観光入込客統計」で計測された数値を計上。

○満足度(全体)

「非常に満足」「概ね満足」と回答した人は前年度(2021年度)と比較して微増であったが、「非常に満足」と回答した人はコロナ禍前の2019年度と比較すると5.3ポイント増加している。

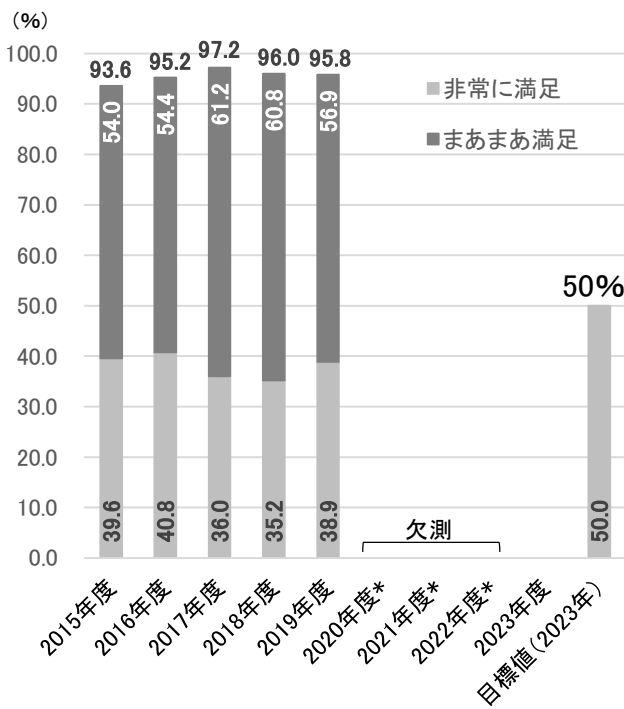


*2020年度は、10-12・1-3月の2期のみで満足度を算出。

出典:愛知県「観光地点パラメーター調査」

○満足度(外国人)

新型コロナウイルス感染症の影響により、必要な統計調査を行えなかったため、欠測。

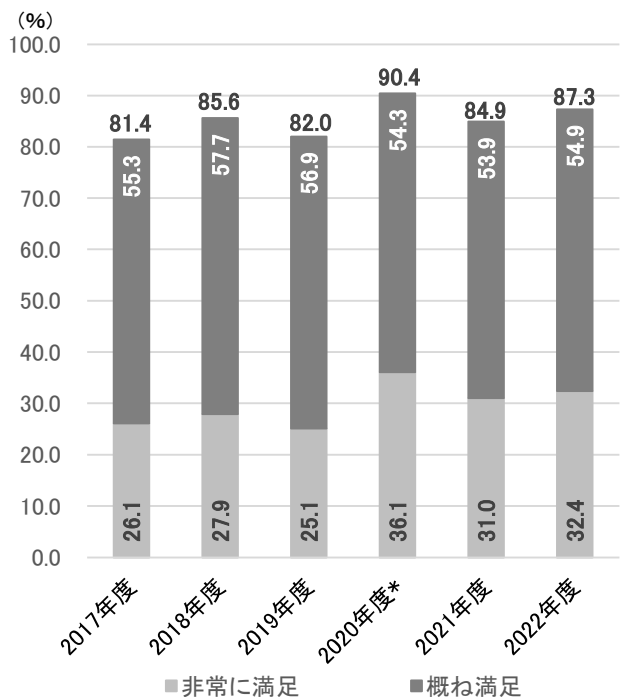


出典:愛知県「愛知県訪日外客動向調査」

*2020・2021・2022年度は、愛知県「愛知県訪日外客動向調査」が実施できなかったことから欠測。

【参考:県内在住者満足度の推移】

「非常に満足」「概ね満足」と回答した人は前年度(2021年度)と比較して微増した。

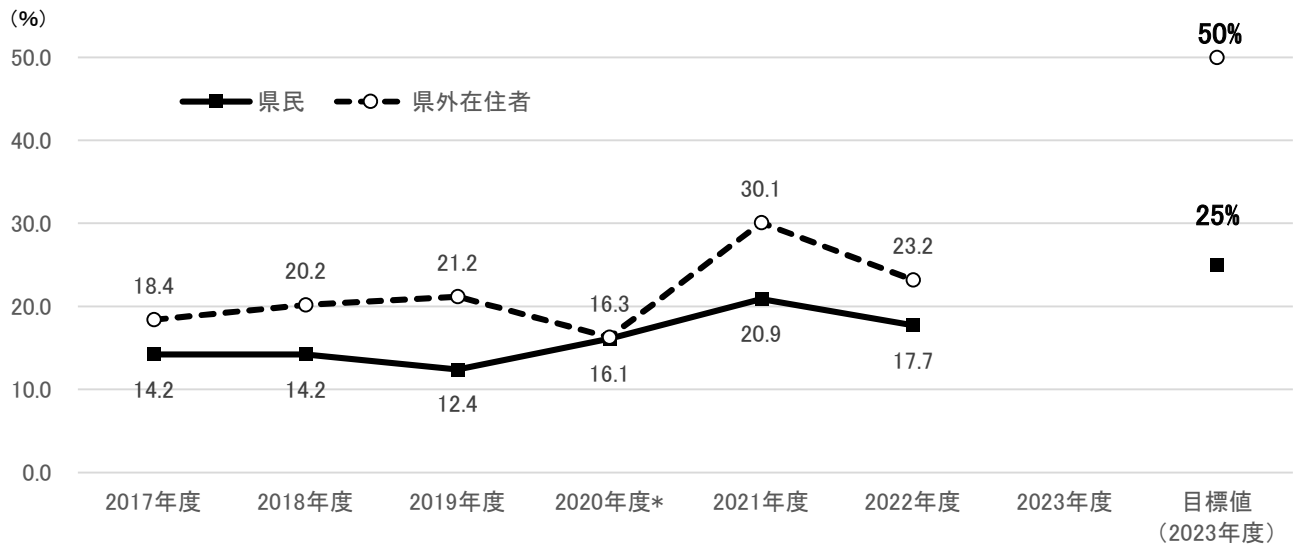


出典:愛知県「観光地点パラメーター調査」

*2020年度は、10-12・1-3月の2期のみで満足度を算出。

○推奨意向

「県民」、「県外在住者」とともに、前年度(2021年度)をやや下回る結果となったが、依然としてコロナ禍前(2019年度)の水準は上回っている。

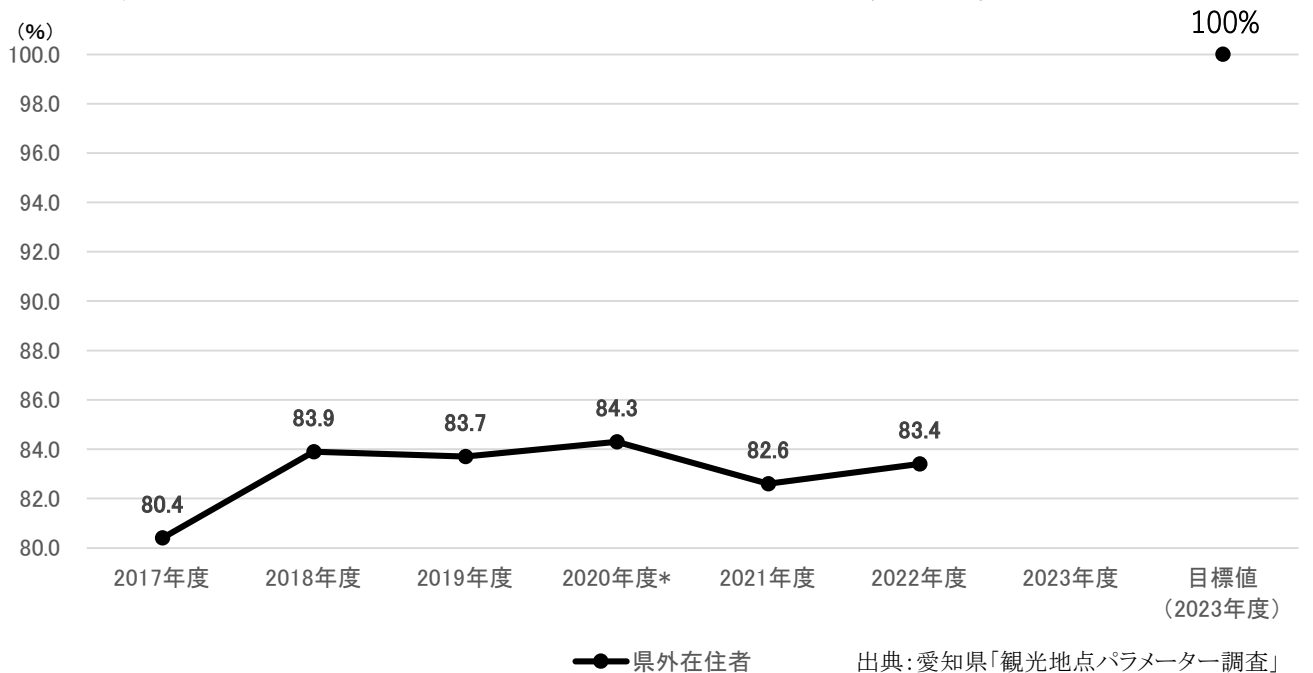


*2020年度は、10-12・1-3月の2期のみで推奨意向を算出。

出典:愛知県「観光地点パラメーター調査」

○再訪意向

県外在住者の再訪意向は、前年度(2021年度)から0.8ポイント増加した。



*2020年度は、10-12・1-3月の2期のみで再訪意向を算出。

出典:愛知県「観光地点パラメーター調査」

2 2022 年度の観光振興施策の実施状況

柱 1 あいち「ツウ」リズムの推進

(1)愛知ならではの「ツウ」な魅力向上

①地域資源の着地型観光プログラム化の促進

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課)

- ・ 市町村・地域観光協会が自らの地域資源を観光プログラムとして磨き上げ、カード化。
- ・ 愛知・名古屋観光誘客協議会がそれらのカードを取りまとめて素材集を作成し、全国の旅行会社に発信。
- ・ 素材集は、武将・城郭、やきもの、のりもの、醸造・うまみ、野菜、フルーツ・スイーツ、お花、お茶、自然体験、夜間プログラム等、「ツウ」なテーマに分けて集約。
- ・ 地域資源の着地型観光プログラム化の促進や、地域自らの手によるプログラム造成能力の向上に寄与。

《実績》

2022 年度下期(2022 年 4 月発行) :189 件[最終版掲載ベース]

2023 年度上期(2022 年 10 月発行):322 件[最終版掲載ベース]

【TOPICS ①】旅行会社への「ツウ」な着型観光プログラムの情報提供

2022 年 11 月、大河ドラマ「どうする家康」の放送開始が迫る中、本県の武将観光資源への注目度が高まることを見越して、通常、4 月・10 月の半期ごとに発行している「旅行会社向け素材集」から武将関連素材抜粋版を特別に発行し、全国 271 の旅行会社に送付しました。

送付後、素材集に掲載したプログラムや助成金への利用申し込みがあり、適時適切なプロモーションが確実な集客につながることを再確認しました。



②旅行者の興味・関心に合わせた着地型観光プログラムの開発促進

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課)

- ・ 食文化、山車・祭・伝統文化をテーマに、①ターゲットプロフィールの作成、②ガイドプログラムの商品化・販売(ガイドセミナー、ガイドプログラムの造成)を実施。
- ・ 2021 年度に造成した 3 テーマ(歴史、自然、産業)のガイドプログラムを改善。

《実績》

セミナー:31 名参加(模擬ツアー:食文化、伝統文化 各 2 コース、計 4 コース)

モニターツアー内容:

[食文化]調味料の伝道師がガイド!みりん制覇ウォーキングツアー

[伝統文化]キツネの町へようこそ!500 余年の信仰の歴史を持つ東海一のパワースポット豊川稲荷と門前町をガイドと一緒に散策し、開運パワーをアップする秘訣を探そう!

[歴史]「奥三河の語り部と歩く 長篠の戦い一検証!信長の勝因、勝頼の敗因」

[産業]「発酵ナビゲーターと行く!日本で唯一ここだけ!発酵好き垂涎の白しょうゆ蔵見学と手づくり体験」

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課)

- ・ ジブリパークチケット販売サイト内に開設した特設サイト「ジブリパークのある愛知への旅」において、観光プログラムの造成や便利なモビリティサービス、周遊観光モデルコースを紹介。

《実績》

造成観光プログラム数:22件(2022年度末時点)
掲載モビリティサービス:4件(2022年度末時点)



特設サイト

【TOPICS ②】スタジオジブリ作品のファンに向けた観光プログラムの造成

ジブリパーク開園(2022年11月)は、ジブリパーク来園者やスタジオジブリ作品に関心を持つ多くの人々を本県に呼び込み、県内での宿泊や周遊に導く大きなチャンスです。そこで、スタジオジブリ作品のファンに喜んでいただけそうな観光プログラムを造成し、特設サイト「ジブリパークのある愛知への旅」において、販売・紹介しました。

この特設サイトで販売・紹介しているプログラムは、市町村や地域観光協会、観光関連事業者から「おいしいをいただく(食)」、「なつかしいに出会う(歴史)」、「いのちを感じる(自然)」、「つくるに触れる(体験)」をテーマに募集を行い、磨き上げを行った後に掲載しています。

この取組は、地域にある資源を見直し、各々が考える「スタジオジブリ作品の世界観」に「コト寄せる」という、観光コンテンツの新たな造成手法の確立につながりました。

【造成した観光プログラムの例】



かわいいミニチュア食器づくり
(瀬戸市)



鈴木バイオリン製造 工房見学&製造体験
(大府市)



セグウェイで巡る「のんほいパーク」バックヤードツアー
(豊橋市)

【地域資源高付加価値化実証】(観光振興課)

- ・ 地域に根差した歴史や産業、文化等を活用し、付加価値の高い観光コンテンツ造成の実証事業として公募し、専門家及び事務局スタッフによるコンサルティング、実施にかかる経費に対し150万円/件を上限に支援。

《実績》

事前コンサルティングの開催(2022.5.12-13)
支援金交付:3件交付

- ・ 書家がパフォーマンスで揮毫して完成する西尾城プレミアム御城印
- ・ 飛島ふ頭ナイトクルーズ
- ・ 「絞」・「瓦」灯りストリート in 有松 2022

事後コンサルティングの開催(2022.11.18)

【地域観光資源販売促進】(観光振興課)

- ・ 地域資源を取り込んだ着地型観光プログラムを web サイト「VISIT 愛知」を通じて個人向けに販売するとともに、旅行会社に対して観光プログラムの組み込みを提案。

《実績》

VISIT 愛知掲載プログラム数:33 件
VISIT 愛知販売数:7,214 件

【もりの学舎】(環境活動推進課)

- ・ 愛・地球博記念公園の環境学習施設「もりの学舎」及びその周辺フィールドにおいて、インタープリターによる自然体験や工作などの環境学習プログラムを実施。

③「ツウ」なテーマごとの市町村境・県境を越えた連携・周遊の促進

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 県内を周遊するテーマ性の高い日帰りバスツアーを造成・販売する愛知県内の旅行会社に対し、広告宣伝費の一部を助成。

《実績》

助成件数:7 社

- ・ 名古屋市内の観光地とジブリパークの相互周遊を促す、ポスター・パンフレットを作成し、名古屋市営地下鉄の各駅等でポスターを掲出。
- ・ 市町村と連携した観光展の開催。

《実績》

開催回数: 県内 5 回
 県外 7 回
 (東京都、大阪府、宮城県、岐阜県、
 広島県、北海道、福岡県 各1回)
参加市町村・観光協会等: 29 市町村(累計)



観光展の様子(福岡・イオンモール香椎浜)

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課)

- ・ 県内各地の徳川家康ゆかりの地や武将観光施設を周遊するキャンペーン「あいち家康戦国絵巻ラリー」を実施。

《実績》

期間:2023.1.21-3.21
対象スポット: 県内の徳川家康ゆかりの地や武将関連観光施設
 160 か所
参加者:7,441 名

- ・ 岐阜県、静岡県と広域連携の協議会を設立し、デジタル武将印を収集できる 3 県連携周遊キャンペーン「家康天下道めぐり 徳川四天王をコンプリートせよ！」を実施。

《実績》

期間:2023.1.27-3.26
対象スポット:3 つの大河ドラマ館(岡崎市、静岡市、浜松市)及び岐
 阜関ヶ原古戦場記念館(関ヶ原町)の 4 館
参加者:2,694 名



パンフレット表紙



チラシ

【TOPICS ③】武将観光をテーマとした広域周遊促進

2023年の大河ドラマ『どうする家康』には、本県を始め近隣県に関係の深い戦国武将等が数多く登場します。ドラマの放送により、家康ゆかりの地などへの関心が高まり、本県への観光客の大幅な増加が見込まれる一方で、施設やスポットが広域にわたるため、実際に周遊していただくためには、必要な情報を効果的に希望者へ提供することが不可欠です。

そこで、愛知・名古屋の玄関口となるJR名古屋駅において、この地域の徳川家康ゆかりの地や武将関連観光施設、関連地域への交通アクセス、周遊キャンペーン等の情報を提供する「家康ゆかりの地 インフォメーションセンター」を開設しました。



オープン時の様子

期間:2023年1月18日(水)~3月31日(金)※2023年度も継続して設置
場所:JR名古屋駅中央コンコースイベントスペース

【観光資源連携推進】(観光振興課)

- ・ 武将観光及び産業観光施設への誘客と広域周遊促進のため、岐阜県とスタンプラリーを実施。
 <<実績>>
 開催期間:2022年7月16日~2023年2月28日 参加者:3,543名

【三河山間地域の魅力発信】(地域振興室)

- ・ SNS等を活用した三河山間地域の魅力発信及び関係人口の拡大に向けた取組の推進。

【離島の振興】(地域振興室)

- ・ 離島の魅力発信及び関係人口の持続化・深化に向けた取組の推進。

【インバウンド需要に対する県産農林水産物等のPR】(食育消費流通課)

- ・ 農業観光ルート創出プロジェクトチーム会議及びセミナーの開催、周知・広報活動の実施。

【食と花の街道】(農業振興課)

- ・ 「いいともあいち食の街道」、「花の王国あいちフラワー街道」の魅力を広くPRすることにより、都市と農村の交流人口の増加を促進。

【あいちの都市・農村交流ガイド】(農業振興課)

- ・ webサイト「あいち都市・農村交流ガイド」において、農林漁業・ものづくり体験や地域の食材を生かした食の堪能、農山漁村の生活を実感できるモデルルートを紹介。

【あいち航空ミュージアムを含む共通券の販売】(航空空港課)

- ・ トヨタ産業技術記念館、トヨタ博物館、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の共通券を販売。

④「ツウ」な魅力の多言語化

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課)

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」とSNSにて多言語で情報発信(詳細 P19,20)。

【海外誘客情報活用推進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 訪日旅行関心層のうち、観光地としての愛知県を認識していない人に対し、言語ごとに関心の高いコンテンツを掲載した特設サイト「AMAZING AICHI Japan」を開設。

【TOPICS ④】各国・地域にローカライズした情報発信

アンケート調査結果をもとに、各国地域の嗜好に合わせて関心の高いテーマを選定し、観光モデルコースを提案する上記特設サイトは、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、フランス語の8言語で情報発信を行っています。画一的でなく、ローカライズした情報発信を行うことで、潜在的な来県者へ効果的に訴求するPRになっています。



AMAZING AICHI Japan(英語)

【公式観光ガイドマップ制作】(国際観光コンベンション課)

- ・ 愛知県の観光情報を提供する多言語の公式ガイドマップを制作。

《実績》

7言語(日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、タイ語、ベトナム語)で各40,000部

【欧米豪向けプロモーション】(国際観光コンベンション課)

- ・ フランス現地メディアの在日フランス人記者を招請し、現地の旅行ガイドブック、旅行記事サイト等に本県の観光PRを掲載(詳細P20)。

【中国FIT向け誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 中国人旅行者向けの県内周遊モデルコースを作成し、情報発信。

【韓国FIT向け誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ メディア広告によるFIT向け情報発信、現地旅行会社(5社)への代理セールスを実施(詳細P20)。

【あいちの観光魅力発信(アジア向け)】(国際観光コンベンション課)

- ・ 多言語のパンフレットを作成し、中部国際空港観光案内所等で配布。

《実績》

6言語(英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語・タイ語・インドネシア語)で各3,000部

【広報誌・広報動画制作】(広報広聴課)

- ・ 広報誌・広報動画「あいちのトビラ 2022」を一部更新し、「あいちのトビラ 2023」を多言語で発行。

《実績》

対応言語: 日本語、英語、中国語(簡体字)

⑤各分野の専門家と連携した魅力の磨き上げ

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課)-再掲-

- ・ 着地型ガイドツアーの専門家をアドバイザーに招いたモニターツアーを実施(詳細P10)。

⑥歴史的遺産や文化財等の観光資源としての活用の促進

【忍者観光創出】(観光振興課)

- ・ 愛知県にゆかりのある忍者を活用した「徳川家康と服部半蔵忍者隊」を結成して、愛知の観光PR隊として活動。

《実績》

名古屋城	[平日活動]	244日間	[土・日・祝活動]	118日間
中部国際空港		41日間		
観光PRイベント	[県外活動]	33日間	[県内活動]	33日間
オンラインツアー		12日間		

【観光資源連携推進】(観光振興課) -再掲-

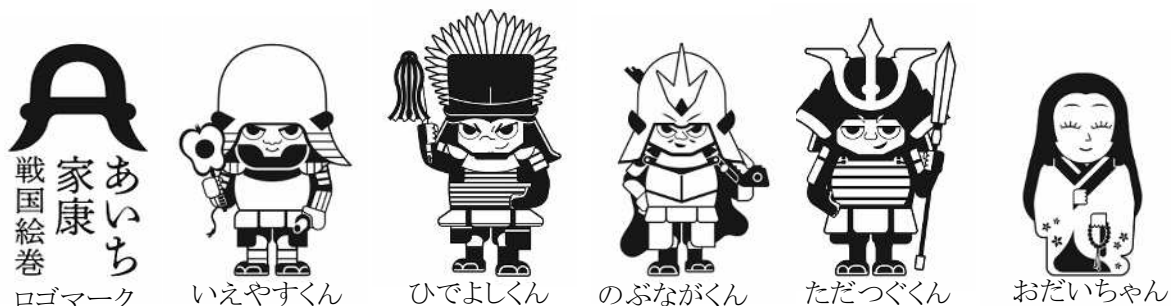
- ・ 岐阜県と連携して実施するスタンプラリーにおいて、歴史的遺産や文化財等を対象施設に組み込み。

《実績》

歴史的資産・文化財 参画スポット:45 施設

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ ロゴマーク及びキャラクターによる統一的な情報発信



- ・ 県内の武将ゆかりの地をまとめた武将観光ガイドブック「あいち家康戦国絵巻」の発行。
- ・ 土産品をまとめたパンフレット「あいちお土産絵巻」の発行。
- ・ 本県ゆかりの武将、姫の紹介や、県内の武将ゆかりの地、周遊モデルコース、交通アクセス、イベント情報等を集約した web サイト「あいち家康戦国絵巻」の開設。



観光ガイドブック表紙



土産品パンフレット表紙



web サイト

- ・ 交通広告、雑誌広告、新聞広告による PR。
- ・ イベントへのブース出展(詳細 P22)。
- ・ 首都圏での観光展「あいち家康戦国絵巻 in 江戸」の開催(詳細 P22)。
- ・ 徳川家康ゆかりの地 PR イベントの開催(詳細 P22)。
- ・ NHK と連携したパネル展の開催(詳細 P19)。
- ・ 県内周遊キャンペーン、他県と連携した誘客キャンペーンの開催(詳細P12)。
- ・ 「家康ゆかりの地 インフォメーションセンター」の開設(詳細P13)。

【愛知のお城観光推進】(観光振興課)

- ・ 本県が誇る城郭・城址の持つ価値の再発見を促すとともに、観光コンテンツとして PR(詳細 P22)。

【街道観光推進】(観光振興課)

- ・ 東海道や美濃路、飯田街道を始め、県内に残る歴史街道や歴史街道にゆかりの地域資源を観光コンテンツとして PR(詳細 P19)。

【本庁舎公開イベント】(財産管理課)

- ・ 国の重要文化財でもある愛知県庁本庁舎の魅力を県民の皆様にご覧いただけるよう、

普段は見るできない知事室や貴賓室、講堂などを公開。

《実績》

開催日:2022.11.3 内容:本庁舎見学、文化・芸術に関する各種イベント、農産品等の販売 等

【文化財保存修理費補助金】(文化財室)

- ・ 国・県指定文化財の適切な維持管理のため、必要な保存修理費の一部を所有者に補助。

【山車まつりの保存・継承・魅力発信】(文化財室)

- ・ あいち山車まつり日本一協議会による山車文化の魅力の発信。

【「文化財ナビ愛知」を通じた文化財情報の発信】(文化財室)

- ・ 「文化財ナビ愛知」を通じた文化財情報の発信。

⑦産業博物館や文化・芸術施設の観光資源としての活用の促進

【あいち航空ミュージアムの運営】(航空空港課)

- ・ あいち航空ミュージアムにおいて、時機を捉えたイベントの企画やコンテンツの継続的な更新を実施。

【観光資源連携推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 岐阜県と連携して実施するスタンプラリーにおいて、産業博物館や文化・芸術施設を対象施設に組み込み。

《実績》

産業博物館や文化・芸術施設 参画スポット:48 施設

【国際芸術祭「あいち 2022」の開催】(国際芸術祭推進室)

- ・ 国際芸術祭「あいち 2022」において、国内外 100 組の参加アーティストによる先鋭的な現代美術やパフォーマンスアーツのほか、オンラインでの映像配信やプログラムなどを実施。
- ・ 幅広い層を対象とした様々なラーニング・プログラムも実施。



国際芸術祭「あいち 2022」展示風景 塩田千春《糸をたどって》2022
© 国際芸術祭「あいち」組織委員会 撮影:ToLoLo studio

《実績》

テーマ:STILL ALIVE 今、を生き抜くアートのちから
芸術監督:片岡 真実(森美術館館長) 会期:2022.7.30-10.10(73 日間)
主な会場:愛知芸術文化センター、一宮市、常滑市、有松地区(名古屋市)
来場者数:487,834 人

【陶磁美術館の活用】(文化芸術課)

- ・ 陶製狛犬や現代陶芸を活かした常設展、企画展等の開催や SNS による発信。

⑧地域の歴史、産業、自然、文化等をテーマとした、県民向けの学習機会の提供

【AEL ネットを活用したエコアクションの推進】(環境活動推進課)

- ・ 県内の環境学習施設等で構成されている AEL (Aichi Environmental Learning) ネット (Network) に加盟している施設や自治体が連携して、環境学習スタンプラリーを実施。

【伝統文化出張講座】(文化財室)

- ・ 小・中学校の授業等で、地域の民俗芸能保存団体と交流し、芸能の鑑賞だけでなく、体験・練習及び発表を通じて伝承活動を支援。

《実績》

開催校数:5 校

【杉原千畝顕彰】(教育委員会総務課)

- ・ 「杉原千畝広場 センポ・スギハラ・メモリアル」を周知するため、完成記念冊子を増刷・配布。

⑨「ツウ」な魅力を伝えるガイドの育成

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 歴史、産業、自然、食文化、山車・祭・伝統文化をテーマに、感動レベルの体験コンテンツを提供できるプロフェッショナルガイドを育成 (詳細 P10)。

(2)効果的な PR・プロモーション

①デジタルマーケティングの実施

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課)

- ・ 県内各地域のエビデンスに基づく政策立案/EBPM(Evidence Based Policy Making)の実践支援のため、観光動態モニタリングサービス「おでかけウォッチャー」を活用し、県内 5 地域(名古屋・尾張・知多・西三河・東三河)ごとの分析レポートを作成。

【収集データの概要】

- ① 観光資源データ数: 県内外の観光スポット 1,784 地点
- ② 収集データ対象期間: 2019.1.1-2023.3.31
- ③ データ: 観光客の数、居住地、性別・年代、周遊の日別単位の位置情報データ

- ・ 県内市町村・地域観光協会と連携した実証事業として、観光コンテンツ造成と観光コンテンツの認知・関心拡大を図るデジタル広告配信を実施した。

《実績》

実証実験: 10 件(実施主体: 磨き上げを行った観光資源)

- 名古屋市: クルーズ名古屋
- (公財)名古屋観光コンベンションビューロー: コットンロード(有松・知多・阿久比)
- 瀬戸市: 瀬戸蔵ミュージアム、中心市街地商店街等
- (一社)犬山市観光協会: 国宝犬山城、城下町、有楽苑等
- 常滑市: りんくうエリア、やきもの散歩道エリア
- 知多市: 佐布里緑と花のふれあい公園
- (一社)岡崎市観光協会: 徳川家康公ゆかりの寺社等
- (一社)蒲郡市観光協会: 波を描く「ナミアート」体験
- (一社)豊橋観光コンベンション協会: 豊橋市二川宿本陣資料館、駒屋、吉田城等
- 田原観光情報サービスセンター: 名鉄海上観光船(株)が運行する定期高速船航路

- ・ 実証実験実施市町村等との個別ミーティング、データ分析手法勉強会を開催。

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ ジブリパークチケット購入者の属性データ等のデータをもとに web 広告配信に活用したほか、希望する市町村、地域観光協会、観光関連事業者等に当該データ閲覧 ID を付与。

《実績》

データ閲覧 ID 付与: 105 団体(市町村・観光協会、ホテル、飲食店 等)

チケット購入者属性データ: 2022.11-2023.3 各月 分析レポート: 2022.12、2023.3 に発行
(3 か月ごと)

位置情報分析(周遊状況)レポート: 2022.11 のデータについて分析、2023.3 に発行

【中央日本総合観光機構】(国際観光コンベンション課)

- ・ 中部 9 県の自治体・観光関係事業者と連携し、コンテンツ・パッケージ・プラットフォーム事業、データ・マネジメント・プラットフォーム構築事業、エリア内連携事業を実施。

②デジタルを活用した推奨表示機能の強化

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」のリスティング広告を配信。
- ・ 「Aichi Now」閲覧ページにその他のお勧め観光地等を提案。

③運輸機関(鉄道・航空・空港・高速道路会社等)・旅行業者との連携

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ JR東海と連携し、地域資源を活かした「冷やし旅」キャンペーンを開催。JR東海・JR西日本・JR九州が運営する予約サービス「EX(エクスプレス)予約」公式サイトでも「冷やし旅」が掲載された。

《実績》

誘客数:約 24 万名

- ・ 一定の条件を満たす旅行会社に対するツアー助成、旅行会社担当者を対象にしたエクスカーションに対する助成を実施。

《実績》

ツアー造成助成:56 件 エクスカーション助成:2 件

- ・ 他県との厳しい宿泊客争奪戦に打ち勝つため、OTA(Online Travel Agent)と連携した PR・プロモーション事業を実施。
- ・ 国内の旅行会社を対象にした商談会を開催し、本県を訪れるツアーの造成を促進。



商談会の様子

《実績》

参加旅行会社:春 28 社 秋 32 社 愛知県側参加団体:春 45 団体 秋 30 団体

- ・ 中堅旅行会社には、個別にセールスを実施し、本県への送客を呼びかけた。

《実績》

訪問先:38 社、愛知県側参加団体(市町村、観光関連事業者等)25 団体



EX 予約サイト

【高速道路を活用した誘客促進】(観光振興課)

- ・ NEXCO 中日本と連携し、県内の宿泊施設、観光施設の入場、お土産品の購入、お食事などで利用できる観光商品券がセットになったドライブプランを設定。

《実績》

販売件数:2,270 件(2022.7.1-2022.12.25)

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ キャンペーンの実施に際して、交通事業者が造成した周遊きっぷとの連携を図った。

《実績》

「どうする岡崎 家康公きっぷ」、「名鉄お城めぐりきっぷ」:名古屋鉄道(株)

「大河ドラマ館セット岡崎市内フリー往復きっぷ」:愛知環状鉄道(株)

【地域観光資源販売促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 地域資源を取り込んだ着地型観光プログラムを旅行会社に対して組み込みを提案(詳細 P12)。

【中部国際空港観光案内実施協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ 中部 5 県 1 市が共同で、中部国際空港の観光案内所を運営。

《実績》

利用者数:25,306 件

【県営名古屋空港協議会と連携した PR・プロモーション】(航空空港課)

- ・ 航空会社と連携したキャラバン隊の派遣やイベントなどを実施。

《実績》

とよやま DE ないと(開催日:2022.8.27-28 会場:豊山グランド)

ふるさと全国県人会まつり(開催日:2022.9.3-4 会場:名古屋城二之丸広場・西之丸広場)

あいち市町村フェア(開催日:2022.11.11-13 会場:愛・地球博記念公園)

「空の日」・「空の旬間」記念事業(開催日:2022.11.19 会場:県営名古屋空港、あいち航空ミュージアム、エアポートウォーク名古屋)

出雲キャラバン(開催日:2022.12.9-10 会場:島根県庁等の自治体及びゆめタウン出雲)

青森キャラバン(開催日:2023.2.10-11 会場:青森県庁等の自治体及び青い海公園)

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(観光振興課) -再掲-

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」に旅行会社・メディア向けサブサイト「Aichi Now PRO」を開設・運営し、旅行会社等に対し情報を発信。

④メディアへの情報発信、メディアとの連携

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 一定の要件を満たしたメディアに対し取材費の助成金を交付することで、本県の観光情報のメディアでの取り上げを促進。

《実績》

交付件数:8社 *メディアのみ

【メディアプロモーション強化】(観光振興課)

- ・ メディアを活用した戦略的なプロモーションを実施し、愛知県の観光に係る認知度向上、観光誘客につなげていくため、メディアへの情報発信に実績・ノウハウを有する PR 会社に委託し、柔軟に時宜を得たメディアへの働きかけと、情報発信を実施。

《実績》

当事業の働きかけによるメディア掲載実績:テレビ 10 件、ラジオ 4 件、新聞 2 件、雑誌 3 件、web メディア:222 件 ※転載除く

情報発信実績:153 件

【街道観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 番組等とコラボレーションし、ロケを誘致することにより、視聴者に向け本県の街道観光の魅力を PR。

《実績》

番組名:番組内で取り上げられた街道

タイチサン!(東海テレビ):飯田街道(稲武)

スイッチ!(東海テレビ):東海道(二川宿)

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ NHK と連携したパネル展示の実施。

《実績》

あいち家康戦国絵巻 in 江戸(開催日:2023.3.4-5 会場:東京都世田谷区玉川)

家康ゆかりの地 インフォメーションセンター(開催日:2023.1.18-3.31 会場:JR名古屋駅)

大河ドラマ「どうする家康」パネル展&トークショー in 愛知(開催日:2023.3.23 会場:愛知県芸術劇場)

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(観光振興課) -再掲-

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」に旅行会社・メディア向けサブサイト「Aichi Now PRO」を開設・運営し、メディアに対し情報を発信。

⑤SNS、web を活用した情報発信

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】

(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」や公式 SNS でスポット紹介やイベント情報を発信。



《実績》

サイトのページビュー数(2022 年度全言語累計):14,163,691 ビュー

SNS 配信状況:日本語 原則週 5 日以上かつ 1 日 1 回以上

英語、中国語(簡体字・繁体字):原則週5日以上かつ1日 2 回以上

フォロワー数(2023.3 末時点):

Facebook 13,627(日)/216,279(英)/53,648(中)、Twitter 7,563(日)/486(英)/197(中)
Weibo 9,299(中)、Wechat 1,093(中)、LINE 13,981(日)、Instagram21,570(日)/1,976(英)

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 観光コンテンツの認知・関心拡大を図るデジタル広告配信を実施 (詳細 P17)。

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 特設サイト「ジブリパークのある愛知への旅」(詳細 P11)や web メディアでスタジオジブリ作品のファンやジブリパーク来園者に向けた情報を発信するほか、当該サイトの web 広告を配信。

《実績》

広告配信媒体:Yahoo!、Googole、YouTube、Twitter、Instagram、LINE、SmartNews
記事掲載 web メディア:RETRIP、Walkerplus+

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ web サイトを作成し、「徳川家康ゆかりの地」「武将のふるさと愛知」を PR(詳細 P15)。
- ・ 大河ドラマや歴史に興味を持った方の多くが情報収集で利用する媒体で広告配信。

《実績》

広告配信媒体:Yahoo!、Twitter

【なごやめしの普及促進】(観光振興課)

- ・ 旅行に関心の高い人にターゲットを絞り、なごやめし PR 動画を広告配信。

《実績》

タイトル:「3泊4日でも食べ切れない! どうする?『なごやめし』」 広告配信媒体:Twitter、Instagram

【欧米豪向けプロモーション】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ フランス現地メディアの在日フランス人記者を招請し、本県の旅行情報を現地の旅行ガイドブック、旅行記事サイト等に掲載。

《実績》

掲載:web メディア 2 媒体、雑誌 1 媒体

【海外誘客情報活用推進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 言語ごとに関心の高いコンテンツを掲載した特設サイト「AMAZING AICHI Japan」を、8 言語、10 カ国・地域で web 広告を配信 (詳細 P13、14)。

《実績》

配信媒体:Facebook、Instagram、Google、Baidu

【韓国 FIT 向け誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ メディア広告による FIT 向け情報発信、現地旅行会社(5 社)への代理セールスを実施。

《実績》

配信媒体:YouTube、Facebook、Instagram

【中部国際空港利用促進協議会と連携した情報発信】(航空空港課)

- ・ web や SNS の活用や、イベントにおける中部地域の観光情報等の発信。

《実績》

タイ現地メディア等へ本県の旅行情報を掲載
インフルエンサーを招聘し、PR 動画を制作・配信 (YouTube 等)

【県営名古屋空港協議会と連携した PR・プロモーション】(航空空港課) -再掲-

- ・ web や SNS を通じて空港や路線の PR を実施。

《実績》

広報誌「名古屋航路」の web 発行

⑥首都圏・関西圏でのプロモーション

【首都圏・関西圏プロモーション推進(愛知の観光物産展開催)】(観光振興課)

- ・ 他局・市町村・事業者とも連携して観光物産展を開催し、首都圏・関西圏在住者に向け県内の物産・観光の魅力を効果的に PR。

《実績》

〔首都圏〕開催日:2022.9.3-4 会場:クイーンズスクエア横浜 来館者数:約 82,000 人
※クイーンズスクエア横浜の来館者数
〔関西圏〕開催日:2022.11.26-27 会場:ディーズスクエア(大阪市) 来場者数:68,000 人(推計)

【首都圏・関西圏プロモーション推進(情報発信)】(観光振興課)

- ・ 観光プロモーション公式サイト「こってり愛知 de 首都圏」及び Facebook の効果的な運用により、首都圏在住者に向けて愛知の魅力を発信。
- ・ 首都圏のパンフレットラックの活用等により、首都圏在住者に向けて愛知の魅力を発信。

【首都圏・関西圏プロモーション推進(プロモーション活動)】(観光振興課)

- ・ 「ハート・オブ・ジャパンあいち応援企業」の登録企業・店舗へのステッカー、ポスター等の送付。

【首都圏・関西圏プロモーション推進(ツーリズムジャパン出展)】(観光振興課)

- ・ 日本最大級の観光の見本市「ツーリズム EXPO ジャパン 2022」への出展。

《実績》

開催日:2022.9.22-25 会場:東京ビッグサイト 内容:商談会・本県の観光PR(12ブース(108㎡))

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 首都圏・関西圏のデジタルサイネージ、シネアドでジブリパークのある愛知をイメージした動画を放映。

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 首都圏の交通広告の実施。
- ・ 首都圏での観光展「あいち家康戦国絵巻 in 江戸」の開催 (詳細 P22)。

⑦観光 PR キャラクターを活用した PR(観光振興課)

【首都圏・関西圏プロモーション推進(観光 PR キャラクター)】(観光振興課)

- ・ 著名人を愛知県観光文化大使に委嘱し、ポスター・観光 PR 動画を制作。

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ ロゴマーク及びキャラクターを県内自治体・観光協会が、県全域で統一的使用することで、県内で一体感を持って「徳川家康ゆかみの地」「武将のふるさと愛知」を PR する (詳細 P15)。

⑧海外観光レップを活用した PR・プロモーション

【海外観光レップ】(国際観光コンベンション課)

- ・ 海外の現地事情に精通した「観光レップ」を 6 か国(タイ、ベトナム、インドネシア、アメリカ、フランス、オーストラリア)に設置し、現地旅行会社・メディアへのセールス活動や現地市場調査、メディア及び旅行会社を対象にしたセミナーを開催。

《実績》

〔アジア・欧米豪〕

現地旅行会社・メディアへのセールス活動

(タイ 14 社、ベトナム 19 社、インドネシア 73 社、アメリカ 28 社、フランス 30 社、オーストラリア 31 社)

〔欧米豪のみ〕

旅行博、商談会への出展(アメリカ 3 回、フランス 2 回、オーストラリア 3 回)

アメリカ現地セミナー(開催日:2023.2.22 参加現地旅行会社等:8 名)

フランス現地セミナー(開催日:2023.2.16 参加現地旅行会社:12 名)

オーストラリア現地セミナー(開催日:2022.10.19 参加現地旅行会社等:10 名)

⑨「ツウ」なテーマに特化したイベントの開催・出展・支援

【サムライ・ニンジャフェスティバル開催】(観光振興課)

- ・ 全国に類を見ないほど武将観光資源に恵まれた本県の特長について、認知度を高めるため、全国の武将隊や忍者隊等が集結するイベントを開催。

《実績》

開催日:2022.11.20 会場:大高緑地 来場者:約 30,000 名

【愛知のお城観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ お城 EXPO への出展及びお城 EXPO と連携した城郭イベント「にっぽん城まつり feat.出張！お城 EXPO in AICHI」の開催。

《実績》

〔お城EXPO2022 出展〕

開催日:2022.12.17-18 会場:パシフィコ横浜 ノース 来場者:15,487 名

〔にっぽん城まつり feat.出張！お城 EXPO in AICHI〕

開催日:2023. 3.18-19 会場:Aichi Sky Expo 来場者:7,064 名

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ イベントへのブース出展。

《実績》

- 大関ケ原祭(開催日:2022.10.9-10 会場:岐阜県関ケ原町)
- 市町村フェア(開催日:2022.11.11-13 会場:愛・地球博記念公園)
- サムライ・ニンジャフェスティバル 2022(開催日:2022.11.20 会場:大高緑地)
- お城 EXPO2022(開催日:2022.12.17-18 会場:パシフィコ横浜)
- にっぽん城まつり feat.出張！お城 EXPO in AICHI(開催日:2023.3.18-19 会場:Aichi Sky Expo)

- ・ 観光展「あいち家康戦国絵巻 in 江戸」の開催。

《実績》

開催日:2023.3.4-5 会場:二子玉川ライズ「ガレリア」 来場者:約 16,000 名

- ・ NHK と連携したパネル展の開催 (詳細 P19)。
- ・ 徳川家康ゆかりの地PR イベント『大河ドラマ「どうする家康」パネル展&トークショー in 愛知』の開催

《実績》

開催日:2023.3.2 会場:愛知県芸術劇場大ホール 来場者:1,394 名

【ポップカルチャーイベント開催】(観光振興課)

- ・ 愛知県をポップカルチャー観光の聖地として認知度向上を図るため、「世界コスプレサミット」を併催する形で、あいちポップカルチャーフェスティバルを開催。

《実績》

開催日:2022.8.6-7(世界コスプレサミットと併催)

会場:中部電力 MIRAI TOWER、久屋大通公園、オアシス 21 *ハイブリッド開催

来場者:20,000 名

【世界コスプレサミット実行委員会負担金】(観光振興課)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい運営を迫られている「世界コスプレサミット」の開催を支援するため、名古屋市と協調して費用の一部を負担。

《実績》

開催日:2022.8.5-7(5 日は、世界コスプレサミット 20 周年記念の前夜祭を実施)

会場:愛知芸術文化センター(ワールドコスプレチャンピオンシップ)、オアシス 21(一般参加のコスプレイベント) 他

参加地域(ハイブリッド形式):39 の国及び地域 来場者:153,000 名

【にっぽんど真ん中祭り開催負担金】(観光振興課)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい運営を迫られている「にっぽんど真ん中祭り(どまつり)」の開催を支援するため、名古屋市と協調して費用の一部を負担。

《実績》

開催日:2022.8.25-28(リアル)、2022.9.2-4(オンライン)
会場(リアル):久屋大通公園始め名古屋市内 9 会場
参加チーム数:国内外から 563 チーム 来場者:約 110 万名

【名古屋まつり開催支援】(観光振興課)

- ・ 郷土英傑行列のほか、歴史と伝統に彩られた指定文化財「山車揃」や市文化財「神楽揃」などの歴史あるまつりの開催を支援。

《実績》

開催日:2022. 10.15-16
会場:久屋大通公園、オアシス 21、名古屋城 ほか

【春姫まつり開催支援】(観光振興課)

- ・ 尾張藩祖・徳川義直公を支えた 3 人の女性(春姫(妻)、お亀の方(母)、お尉の方(側室))にスポットを当て、名古屋市内のパレードや名古屋城特設ステージでのイベントを実施する「春姫まつり」の開催を支援。

《実績》

開催日:2023. 3.19
会場:久屋大通公園、名古屋城 ほか

⑩海外公館や JNTO 等を通じた PR・プロモーション

【国際観光振興機構(JNTO)負担金】(国際観光コンベンション課)

- ・ 海外プロモーション事業や MICE の誘致・開催支援等を実施する JNTO に対し、負担金を支出。

【クレア海外事務所を通じた情報発信の支援】(国際課)

- ・ クレア海外事務所が所管する各都市で開催される各種旅行博覧会等への企業等の出展サポート、自治体の観光 PR などを支援。

⑪フィルムコミッションを通じた PR・プロモーション

【フィルムコミッション活動支援】(観光振興課)

- ・ ロケ地フェアへの出展、制作会社へのセールス。
- ・ 県内で撮影された作品のロケ地を紹介するパネル展の開催、ロケ地マップの作成。

《実績》

ロケ地マップを 2 作品で作成し(計 23, 200 部)、映画館に配架。

⑫県内企業を通じた情報発信、県内企業との連携

【包括協定を締結した各社店舗等での情報発信】(商業流通課)

- ・ 包括協定を締結しているコンビニエンスストアやスーパーの店舗で、パンフレットやポスターを通じて観光情報を発信。

【首都圏・関西圏プロモーション推進(プロモーション活動)】(観光振興課)

- ・ 「ハート・オブ・ジャパンあいち応援企業」の登録企業・店舗へのステッカー等の送付。

⑬県人会・在住外国人等を通じた情報発信

【県人会を通じた県政 PR の推進】(県民総務課)

- ・ 各県人会総会等の機会を利用して、観光情報・県政情報の PR や県政への協力を依頼。
- ・ 各県人会が推薦する者に「愛知ふるさと大使」を委嘱し、出身県及び現在住んでいる県等において、積極的な観光情報の発信や愛知県政 PR 活動を依頼。

柱 2 受入れ体制の整備・充実

(1)多言語化の促進等による利便性の向上

①宿泊施設や立ち寄り施設等の多言語化の支援

【多言語コールセンター運営】

(国際観光コンベンション課)

- ・ 利用登録した観光関係事業者に対して、外国語による施設案内表示等に対する翻訳サービスを提供。

《実績》

館内案内 38 件 飲食メニュー122 件
商品紹介 10 件 メール対応 9 件 その他 59 件



②案内標識・案内板等の多言語化の促進

【観光施設費等補助金】(観光振興課)

- ・ 市町村が設置する観光施設の観光案内板・誘導標識等の多言語化に対する補助事業を実施。

《実績》

補助件数(多言語化):1 施設(当補助金交付件数 23 件(ソフト事業も含む))

③接客現場における多言語対応の支援

【多言語コールセンター運営】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 利用登録した観光関係事業者に対して、外国人旅行者との接客時における電話等を利用した通訳サービスを提供。

《実績》

33 件(登録事業者:8 件、外国人旅行者及び在住者:25 件)

④無料公衆無線 LAN の整備促進・利便性向上

【県有施設無料公衆無線 LAN 運営】(情報政策課)

- ・ 県有施設において、Aichi_Free_Wi-Fi を提供。

(2)多様な宗教・信条等への対応支援

特別な配慮が必要な宗教・信条等への対応の支援

【ムスリム誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 県内のムスリムフレンドリー事業者への取材・視察、県内事業者向けセミナーの開催。

《実績》

開催日:2023.2.15(名古屋会場)、16(常滑会場)
内容:ムスリムフレンドリー対応の実例、取組等について講師による講演
取材を担当した在住ムスリムのプレゼン発表・意見交換
参加者:23 名(名古屋会場)、31 名(常滑会場)

(3)多様な旅行・宿泊ニーズへの対応

高級ホテルの誘致

【高級ホテル立地促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ ハイレベルな国際会議の開催や海外の富裕層旅行者等の誘致に向けた高級ホテルの立地を促進。
- ・ 事業認定ホテルのブランド名を公表。
- ・ 認定事業者の財務状況の健全性や安全性について、専門家からの意見聴取を実施。

《実績》

TIAD, AUTOGRAPH COLLECTION	2021年2月事業認定、2023年7月1日開業
コンラッド名古屋	2021年9月事業認定、2026年8月開業予定
(仮称) エスパシオ ナゴヤキャッスル	2021年9月事業認定、2025年春開業予定

②ワーケーション・ブレジャー客の取り込み

【宿泊事業者高付加価値化促進】(観光振興課)

- ・ 宿泊事業者が県内の宿泊施設のリノベーション等により、ワーケーション・ブレジャーの受入体制の強化など、施設の高付加価値化を図る取組を支援。

《実績》

2023年3月に18事業者へ交付決定(ワーケーション・ブレジャーの受入体制の強化も含む)

[補助概要]

対象者:県内に宿泊施設を有する宿泊事業者

対象経費:宿泊施設の高付加価値化改修に伴う工事費、設計費等

補助率:(中小企業)補助対象経費の2/3に相当する額以内、(その他の企業)補助対象経費の1/2に相当する額以内

限度額:100,000千円

【ワーケーション・ブレジャーの受入態勢の強化】(国際観光コンベンション課)

- ・ ワケーションに関するミーティング(勉強会)の開催。

【テレワーク・ワーケーションの促進】(地域振興室)

- ・ 三河山間地域におけるワーケーション等の促進のため、企業等を対象とした実証実験の実施。

③宿泊施設の高付加価値化

【宿泊事業者高付加価値化促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 宿泊事業者に対し、県内の宿泊施設の高付加価値化を図る取組を支援(詳細 同ページ上)。

(4)ユニバーサルツーリズムの推進

①バリアフリー化への支援

【観光施設費等補助金】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村が設置する観光施設のバリアフリー化に対する補助事業の実施。

《実績》

補助件数(バリアフリー化):1施設(当補助金交付件数23件(ソフト事業も含む))

②バリアフリー情報の発信

【Aichi Nowでのバリアフリー情報の発信】(観光振興課)

- ・ 「Aichi Now」掲載施設のうち、バリアフリー状況の掲載が望まれる施設について、2019年度に追記したバリアフリー情報を継続発信。

(5)旅行者の安全・安心の確保

災害時における外国人旅行者への多言語での情報発信

【愛知県救急医療情報システムによる外国人への医療情報提供の実施】(医務課)

- ・ 外国語対応可能な医療機関に関する情報を、音声及びFAXでは5ヶ国語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語)、webでは4ヶ国語(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語)による外国語表示機能により提供。

【愛知県災害多言語支援センター設置】(多文化共生推進室)

- ・ 愛知県災害多言語支援センターにおいて、市町村職員や市町村国際交流協会職員等を対象に、災害時の外国人支援に関する知識を習得するための講座を開催。

《実績》

センター設置訓練 2022.9.4

災害時外国人支援活動講座 第1部 オンライン講座 配信期間:2022.9.9-10.18

第2部 ワークショップ 開催日:2022.10.19

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 災害発生時に「Aichi Now」において、多言語で必要な情報を発信。
- ・ 県内観光関係者向けサイト「Aichi Now BIZ」に、観光庁「自然災害発生時の訪日外国人旅行者への初動対応マニュアル策定ガイドライン」及び同「訪日外国人旅行者の安全確保のための手引き」に関する情報を掲載し、周知。

【中部国際空港観光案内実施協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 中部国際空港案内所や案内所 SNS にて、災害時に災害情報を発信。

【多言語コールセンター運営】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 災害発生時、訪日外国人への情報提供手段として通訳サービスを提供。

柱 3 観光交流拠点としての機能強化

(1)周遊観光・広域観光の推進

①交通結節点からの周遊観光・広域観光の推進

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」において、交通結節点からのモデルコースを紹介。

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 交通結節点から県内を周遊するテーマ性の高い日帰りバスツアーを造成・販売する愛知県内の旅行会社に対し、広告宣伝費の一部を助成（詳細 P12）。
- ・ JR東海と連携し、新幹線駅からの周遊観光を促す「冷やし旅」キャンペーンを開催（詳細 P18）。

②ジブリパークを活用した誘客、周遊観光の促進

【ジブリパーク構想地域連携協議会の活動の推進】(ジブリパーク推進課)

- ・ 2022 年 11 月に開園したジブリパークを核に、愛・地球博記念公園周辺の自治体及び鉄道事業者が一体的・有機的な連携を図り、地域活性化に向けた協力関係を構築することで、ジブリパークを活かした周辺地域の更なる発展・活性化を推進。

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ ジブリパーク来場者のデータ統計データ等を提供するサイトの運用(詳細 P17)。
- ・ ジブリパークチケット販売サイト内に開設した、来園者向け観光情報等発信特設サイト「ジブリパークのある愛知への旅」運営、掲載するプログラムの造成（詳細 P11）。
- ・ チケット購入者へのメールマガジンの送付
- ・ web 広告の配信（詳細 P20）。
- ・ キービジュアル／動画『風になって遊ぼう。』を活用した PR。



© Studio Ghibli

【リニモ沿線地域活性化・地域活力創出】(交通対策課)

- ・ 東部丘陵線連絡協議会の活動を通して、リニモ沿線地域づくり構想の推進に取り組み、沿線地域の活性化を推進。
- ・ リニモの利用促進のため、沿線イベント等を実施。

③中央日本総合観光機構や東海地区外国人観光客誘致促進協議会等の広域連携事業体を通じた取組の推進

【中央日本総合観光機構】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 中部 9 県の自治体・観光関係事業者と連携し事業を実施。

【東海地区外国人観光客誘致促進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ 東海 4 県 2 市と連携しシンガポール、中国の各市場に向けたプロモーションを実施。
- ・ 県内の市町村等と連携し、台湾 FIT 向け観光説明会の開催、タイ FIT Fair への出展。

④近隣県等を含んだ周遊の促進

【観光資源連携推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 隣接の岐阜県と連携してスタンプラリーを実施(詳細 P13、15、16)。

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 岐阜県、静岡県と連携し、3県連携周遊キャンペーンを実施(詳細 P12)。

⑤リニア中央新幹線の開業を見据えた周遊観光・広域観光の検討

【東海道新幹線ひかりこだま停車駅、リニア中間駅へのアクセス向上に向けた取組】(交通対策課)

- ・ 東海道新幹線を活用した交流の拡大策の検討。

(2)航空路線・外航クルーズ船の誘致

①エアポートセールス等による航空路線の復活・誘致

【エアポートセールス等を通じた航空路線の復活・誘致】(航空空港課)

- ・ 航空ネットワークの早期回復及び拡充に向けエアポートセールスを実施。

《実績》

シンガポール航空(実施日:2022.8.18)

②ポートセールス等を通じた外航クルーズ船の誘致

【クルーズ船誘致促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 外航クルーズ船社等への名古屋港、三河港の代理セールス。
- ・ 名古屋港寄港時の観光案内。

(3)モビリティ・マネジメント

①公共交通を用いた周遊ルートの提案、二次交通の充実/異なる交通事業者をまたぐ移動の円滑化の促進/MaaSの普及促進

【マルチモーダルサービス導入実証】(交通対策課)

- ・ 名古屋東部丘陵地域を中心とする地域を対象とした MaaS の導入に向けた実証実験の実施。

②企画きっぷの開発促進

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 交通事業設定した企画切符との連携(詳細 P18)。

(4)交通インフラの整備

①リニア中央新幹線の整備促進

【期成同盟会による早期整備に向けた国等への働きかけや啓発等】(交通対策課)

- ・ 期成同盟会(国・県)を通じた要望、調整、啓発活動等を実施。

②中部国際空港の第二滑走路の整備促進

【中部国際空港の第二滑走路の整備を始めとする機能強化に向けた取組の推進】(航空空港課)

- ・ 中部国際空港の第二滑走路の早期実現に向けた国への働きかけ等を実施。

③広域幹線道路の整備促進

【広域幹線道路の整備促進】(道路建設課)

- ・ 観光地間の有機的なネットワーク化を図るため、三遠南信自動車道等の整備推進を国へ要望。

柱 4 MICE の誘致・開催、Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)の活用

(1)国際会議・展示会の誘致・開催

①国内外の見本市への出展

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ アジア最大級の MICE 商談会「IT & CM Asia」(タイ・バンコク)への出展。

《実績》

開催日:2022.9.20-22 商談数:51 件

- ・ 国内 MICE 見本市「第 32 回国際 MICE エキスポ(IME2023)」への出展。

《実績》

開催日:2023.2.16 商談数:9 件

- ・ 国内 MICE 商談会「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2022」への出展。

《実績》

開催日:2022.9.22-24 商談数:17 件

②JNTO 主催セミナー・商談会への参加

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

《実績》

インセンティブ旅行商談会(韓国)

開催日:2022.8.24 商談数:9 件

国際会議・インセンティブ旅行商談会(インド・シンガポール)

開催日:2022.11.15-16 商談数:5件

インセンティブ旅行商談会(台湾)

開催日:2022.12.14 商談数:5 件

③東京での説明会の開催

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 愛知・名古屋 MICE 説明会の開催。

《実績》

開催日:2022.12.22 会場:KKR ホテル東京(東京都千代田区)

参加者:関東圏 MICE 関係者 36 団体 71 名、地元ステーキホルダー23 団体

④国際会議・展示会の開催支援

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 大規模 MICE の参加者へのおもてなしとして、アトラクションの派遣提供やギブアウェイを提供。

《実績》

アトラクション提供:5 件 ギブアウェイ提供:6 件

⑤ユニーク・ベニユーの把握・発掘と活用の促進

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 「愛知・名古屋ユニークベニユーガイド」の配布、公表。

⑥情報収集と的確なターゲットへの情報発信

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ MICE セミナーの開催、MICE ニュースレターの発信。

⑦グローバル・インダストリー日本版の開催支援

【愛知県国際展示場管理運営】(産業振興課)

- ・ グローバル・インダストリー日本版の開催に向けた産業界への働きかけや併催企画の検討等。

⑧高級ホテルの誘致

【高級ホテル立地促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ ハイレベルな国際会議や海外富裕層旅行者等の誘致に向けた高級ホテルの立地を促進(詳細 P24、25)。

⑨国際会議等の誘致

【日台観光サミット誘致推進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 台湾桃園で開催されたサミットに次回開催地として出席し、情報収集や台湾側との意見交換を実施。
- ・ 2023 年に本県で開催される日台観光サミットに関連する諸行事の計画を策定。



「2022 日台観光サミット in 桃園」

【国内キーパーソン対象誘致活動】(国際観光コンベンション課)

- ・ 国内の学会本部・本社等を訪問。

⑩Aichi Sky Expo の活用

【愛知県国際展示場管理運営 国際展示場の管理・運営】(国際展示場室)

- ・ コンセッション方式による運営の支援等。

【展示会産業振興基金 官民連携組織運営〔官民連携による需要創造〕】(国際展示場室)

- ・ 地域プロモーションの実施。

《実績》

- Aichi Sky Expo の共用スペース等に県産品を PR するコーナーを開設:3 回
- MICE の専門媒体「MICE Japan」、「見本市展示会通信」への Aichi Sky Expo 特集記事掲載

- ・ 催事の開催支援。

《実績》

- Aichi Sky Expo 利用促進補助金:1 件
- 来場者向けに Aichi Sky Expo へのシャトルバスを運行する催事主催者への支援:2 件

- ・ 展示会等の企画・開催。

《実績》

- グローバルインダストリー日本版の開催に向けた調整等
- 「AICHI IMPACT!2022」の実行委員会への参画(開催期間:2022.11.18-20
会場:Aichi Sky Expo 内容:e スポーツ企画を中心とした BtoC イベント)

【TOPICS ⑤】Aichi Sky Expo で初開催の催事

〔第 1 回名古屋モーターサイクルショー〕

大阪と東京に次いで、国内 3 番目のモーターサイクルショーとして 2022 年 4 月 8 日から 10 日まで初開催。36,188 名が来場。

〔ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2022〕

中部地方最大級の産業用ロボットと自動化システムに特化した専門展示会として、2022 年 6 月 30 日から 7 月 2 日まで初開催。41,880 人が来場。

「モノづくり」産業に関連する新規開催として、全国から注目を集め、当地域及び Aichi Sky Expo が大いに PR されました。なお、両催事とも、Aichi Sky Expo で第 2 回目の開催が発表されています。



第1回名古屋モーターサイクルショー



ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2022

(2) イベントの誘致・開催

① ツーリズム EXPO ジャパンの誘致

【国際会議等誘致推進 ツーリズム EXPO ジャパンの誘致】(国際観光コンベンション課)

- ・ 国内最大の旅行博である「ツーリズム EXPO ジャパン」の 2024 年以降の開催を誘致。

② 技能五輪国際大会の招致

【技能五輪国際大会の招致】(技能五輪・アビリンピック推進室)

- ・ 招致機運を盛り上げる技能五輪国際大会講座、トークイベントを開催。

③ 愛知万博 20 周年記念事業の開催

【愛知万博 20 周年記念事業準備】(愛知万博 20 周年記念事業推進室)

- ・ 愛知万博開催 20 周年を迎える 2025 年に、愛・地球博記念公園において、記念事業を実施するため、事業の基本的方針となる基本計画を策定。

(3) インセンティブツアーの誘致

① 国内外の見本市への出展

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ アジア最大級の MICE 商談会「IT & CM Asia」(タイ・バンコク)への出展(詳細 P29)。
- ・ 国内 MICE 見本市「第 32 回国際 MICE エキスポ(IME2023)」への出展(詳細 P29)。
- ・ 国内 MICE 商談会「VISIT JAPAN トラベル & MICE マート 2022」への出展(詳細 P29)。

② JNTO 主催セミナー・商談会への参加

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ JNTO 主催海外セミナー・商談会への参加(詳細 P29)。

③ 東京での説明会の開催

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 愛知・名古屋 MICE 説明会の開催(詳細 P29)。

④ 旅行会社等の招請

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 東京都・(公財)東京観光財団と連携し、共同でファミトリップを実施。

《実績》

実施日:2023.1.17-20 参加者:北米圏のミーティングプランナー等 5 名

⑤ インセンティブツアー来訪時のおもてなしの実施

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ ツアー参加者に対するおもてなしとして、レセプション開催支援やギブアウェイを準備。

⑥ 企業との連携によるテクニカル・ビジット(産業視察)の推進

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ テクニカルビジット(産業視察)受入先一覧の更新。

(4) スポーツ大会の招致・開催

① 第 20 回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)・第 5 回アジアパラ競技大会の開催に向けた準備

【第 20 回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)・第 5 回アジアパラ競技大会の開催準備】

(アジア・アジアパラ競技大会推進課)

- ・ 第 20 回アジア競技大会・第 5 回アジアパラ競技大会の開催(2026 年)に向け、組織委員会を中心に、開催都市である本県及び名古屋市や関係市町村等との調整を図りながら、開催準備を進めた。

《実績》

- 大会組織委員会※の支援
- 大会の PR
- 市町村施設改修事業費補助金の交付
- アジアパラ競技大会開催都市契約の締結に向けたアジアパラリンピック委員会(APC)との協議
- 大会運営計画(競技会場、宿泊、輸送、警備等)の検討
- 選手村の整備
- マーケティング活動の推進
- メイン選手村後利用事業の推進
- 地域活性化ビジョンの改訂・推進
- 大会の広報活動
- OCA(アジア・オリンピック評議会)・APCとの連絡、調整

②マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知等のスポーツ大会の開催

【マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知の開催】(スポーツ振興課)

- ・ マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知を開催。

《実績》

- | | | |
|----------------------------|--------------------|---------------|
| ● 名古屋ウィメンズマラソン 2023 | (開催日: 2023.3.12 | 参加者:12,732 名) |
| ● 名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン 2023 | (開催日: 2023.3.12 | 参加者:14 名) |
| ● 名古屋シティマラソン 2023 | (開催日: 2023.3.12 | 参加者:7,999 名) |
| ● マラソン EXPO | (開催日: 2023.3.10-12 | 来場者:91,632 名) |

③県内で開催されるスポーツ大会の支援

【奥三河パワートレイルの開催支援】(スポーツ振興課)

- ・ 茶臼山をスタートし、急峻な山や緑深い森、四谷千枚田などの田園風景を駆け抜ける総距離約 70 km、累積標高約 4,000mの本格的な中距離トレイルランニング大会「奥三河パワートレイル」の 2022 年大会の開催支援及び 2023 年大会の開催に向けた支援。

《実績》

開催期日: 2022.4.10 参加者:609 名

【アイアンマン 70.3 東三河ジャパン in 渥美半島の開催支援】(スポーツ振興課)

- ・ WTC (World Triathlon Corporation) の公認により世界各地で開催されている「アイアンマン 70.3 シリーズ (スイム 1.9 キロ、バイク 90.1 キロ、ラン 21.1 キロの合計 113.1 キロ=70.3 マイル)」の国内唯一の大会である「アイアンマン 70.3 東三河ジャパン in 渥美半島」の開催に向けた支援。

【新城ラリーの開催支援】(スポーツ振興課)

- ・ 全日本ラリー選手権の1戦であり、国内ラリー競技の中では観客動員数において最大級である「新城ラリー」の開催を支援。

《実績》

開催日:2023.3.3-5 出場台数:72 台
会場:県営新城総合公園(メイン会場) 及び鬼久保ふれあい広場、千万町楽校周辺(サテライト会場)、新城、岡崎市内県道・市道・林道

【FIA 世界ラリー選手権ラリージャパンの開催支援】(スポーツ振興課)

- ・ 国際自動車連盟 (FIA) が 1973 年に創設したラリーの最高峰の「FIA 世界ラリー選手権ラリージャパン」の開催を支援。

《実績》

開催日:2022.11.10-13 会場:豊田スタジアム及び周辺自治体の一般公道・林道・農道 出場台数:36 台

④スポーツツーリズムの推進

【東三河スポーツツーリズムの推進】(東三河総局)

- ・ ガイド育成講座の開催、広域周遊ルートを活用したイベントの開催。

柱 5 持続可能な観光の実現

(1)「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」の普及

GSTC 認証取得に取り組む市町村や地域の観光関係団体の支援

【市町村や地域の観光関係団体の支援】(観光振興課)

- ・ 持続可能な観光に取り組む市町村等に情報提供等を実施。

《実績》

オランダを拠点とする国際認証機関グリーン・デスティネーションズが選ぶ 2022 年「世界の持続可能な観光地百選」に南知多町が選出

(2)観光人材の確保・育成

①地域の魅力を伝えられる人材の育成

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 本県の「ツウ」なテーマのうち、主たる 2 つ(文化、山車・祭・伝統文化)について、作成したターゲットに基づき、感動レベルの体験コンテンツを提供できるプロフェッショナルガイドを育成(詳細 P10)。

【観光まちづくり推進】(観光振興課)

- ・ 地域で観光まちづくりに取り組む人材を対象に実施する「あいち観光まちづくりゼミ」を開催。
- ・ 「まちゼミ」参加者や学生から企画を募集し、アワードを開催。
- ・ アワード表彰企画の中からモニターツアーを実施。

《実績》

● 講演会

開催日:2022.6.15 参加者:41 名(ゼミへの参加者は 45 名) 講師:和歌山大学経済学部 大澤 健 教授

● グループワーク及びワークショップ

✓ワークショップ 講師:大ナゴヤツアーズ実行委員会 代表 加藤 幹泰 氏

開催日:2022.8.16 参加者:午前の部 11 名、午後の部 8 名

✓フィールドワーク 開催日:2022.8.30

参加者:午前の部 11 名、午後の部 8 名参加 場所:熱田神宮

● 企画発表会 開催日:2022.10.26 参加者:58 名

● アワード応募件数:学生部門 39 件、産業部門 1 件

● フォーラム 開催日:2023.1.30 参加者:75 名

● モニターツアー開催日 ①バスツアーコース:2023.2.10 ②まち歩きコース:2023.2.24

【産業観光あないびと育成】(観光振興課)

- ・ 観光ボランティアガイドを始めとする地域で活躍している方を対象に、産業観光に関する講習や産業観光施設訪問等を実施し、産業観光の知識を広く習得できる機会を提供。

《実績》

開催日:2023.2.20 会場:リニア・鉄道館、クルーズ船内 参加者:46 名

テーマ:「名古屋港と中川運河のいま」

②就業前の人材に対する観光関連産業の魅力の普及

【観光まちづくり推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 地域で観光まちづくりに取り組む人材を対象に実施する「あいち観光まちづくりゼミ」を開催し、「まちゼミ」参加者や学生から企画を募集し、アワードを開催。(詳細 同ページ上)

③セミナーやフォーラム、ワークショップなど、知識・技能を高められる機会の提供・支援

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 本県の「ツウ」なテーマで、感動レベルの体験コンテンツを提供できるプロフェッショナルガイドを育成のためセミナーを実施（詳細 P10）。

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 実証実験として採択された事業(詳細 P17)について、委託事業者(愛知県観光協会)・申請者(市町村又は地域観光協会)・県の3者で個別ミーティングを計4回実施するとともに、「おでかけウォッチャー」を活用したデータ分析手法勉強会を申請者(市町村又は地域観光協会)向けに計3回、開催。

【観光まちづくり推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 地域で観光まちづくりに取り組む人材を育成のため、グループワークやワークショップを実施（詳細 P33）。

【ムスリム誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ ムスリム受入対応に関する県内事業者向けセミナーの開催（詳細 P24）。

④学校における観光教育の普及促進

【高等学校普通科教育課程の弾力化】(高等学校教育課)

- ・ 県立足助高校に観光ビジネスコースを2023年度に新設するための準備。

【県立足助高等学校観光ビジネス類型への支援】(観光振興課)

- ・ 学校運営協議会に参画し、観光ビジネス類型の学習内容について助言。

(3)観光イノベーションの促進

①優れた取組を表彰し、横展開を図るアワードの実施

【観光まちづくり推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 各主体から観光振興に関する取組のアイデアを募集し、優れたものを発表(詳細 P33)。

②関係者間の情報共有の促進

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(観光振興課) -再掲-

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」に県内観光関係者向けサブサイト「Aichi Now BIZ」を開設・運営し、関係者間の情報共有を促進。

(4)取組体制の構築

①愛知・名古屋観光誘客協議会を通じた取組の推進

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村界を越えた連携を広域自治体である県主導で実現し、市町村が活躍できる場を構築するとともに、地域資源の商品化を促進して、観光振興を推進（詳細 P10、12、18、19）。
〔構成員 53 団体:51 市町村、1 観光関係団体、愛知県〕

②愛知のお城観光推進協議会を通じた取組の推進

【愛知のお城観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 本県が全国に誇る「お城観光」の推進を図るため、城郭・城址の持つ価値の再発見を促すとともに、市町村同士の情報共有、広域かつ効率的な情報発信を実施（詳細 P15、22）。
〔構成員 35 団体:30 市町、4 観光関係団体、愛知県〕

③愛知県街道観光推進協議会を通じた取組の推進

【街道観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 街道関係地域の連携・協力体制の強化を図るとともに、「街道」を鍵とした内外からの誘客を図り、街道観光を推進(詳細 P15、19)。

[構成員 19 団体:9 市町、9 観光関係団体、愛知県]

④愛知県フィルムコミッション協議会を通じた取組の推進

【フィルムコミッション活動支援】(観光振興課) -再掲-

- ・ フィルムコミッション及び市町村を中心に連携を図り、広域で映画やドラマなどの撮影を誘致し、誘客を促進(詳細 P23)。

[構成員 32 団体:19 市町、12 団体、愛知県]

⑤愛知県大河ドラマ「どうする家康」観光推進協議会を通じた取組の推進

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 相互協力・連携にあたっての情報共有、全体的な調整の場とし、会員が各々の予算により、役割分担に沿って事業を実施(詳細 P12、13、15、18、19、20、21、22、28)。

[構成員 107 団体: 49 市町、49 観光関係団体、2 経済関係団体 6 民間企業等、愛知県]

⑥大河ドラマ「どうする家康」愛知・静岡・岐阜連携事業推進協議会を通じた取組の推進

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 3 県連携周遊の促進(詳細 P12、28)。

[構成員 3 県: 静岡県、岐阜県、愛知県]

⑦Aichi Sky Expo 活性化推進機構を通じた需要創造

【展示会産業振興基金 官民連携組織運営〔官民連携による需要創造〕】(国際展示場室) -再掲-

- ・ 地域を挙げた Aichi Sky Expo の需要の創造に向けて、官民連携で事業を実施(詳細 P30)。

[構成員 2 団体: 愛知国際会議展示場(株)、愛知県]

柱 6 ウィズコロナ・ポストコロナへの対応

(1)安全・安心の強化と感染状況に応じた誘客

①感染防止対策の徹底・正確な情報発信

【催事飲食感染防止対策】(国際展示場室)

- ・ Aichi Sky Expo で開催される催事に対し、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した飲食エリアを提供し、その結果はモデルとして情報発信。

《実績》

提供先:名古屋モーターサイクルショー 展示会
第 17 回食育推進全国大会 in あいち 展示会
ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2022 展示会

②県民による県内旅行の促進、近隣県・全国からの段階を踏んだ国内誘客

【観光消費喚起「あいち旅eマネーキャンペーン」及び「LOVEあいちキャンペーン」】(観光振興課)

- ・ 県民による県内旅行を促すため、2021 年度から継続して「あいち旅 e マネーキャンペーン」(旅行者に対し電子マネー等により旅行代金等の割引分を還元)及び「LOVEあいちキャンペーン」(県内旅行商品の割引)を実施。

《実績》

● あいち旅 e マネーキャンペーン

愛知県民及び近隣県民(新潟、富山、石川、長野、福井、岐阜、静岡、三重)を対象に、本県内での宿泊旅行に係る代金を還元。

✓ 実施期間

2022.5.9-10.10(2022.10.11 チェックアウト分含む)

*感染拡大に伴い 2022.1 から停止していた。

✓ 還元額

・ 県内旅行商品の購入、県内宿泊施設の利用に対し、代金の 2 分の 1(1 人 1 回あたり最大 5,000 円)を旅行者へ電子マネー等にてキャッシュバック。

・ 旅行期間中に土産物店等で利用可能なクーポン(1 人 1 回あたり最大 2,000 円)を電子マネー等にて付与(キャッシュバック)。

✓ 利用者人数/還元額 384,034 人/2,168,985,800 円

● LOVE あいちキャンペーン

愛知県民及び近隣県民(新潟、富山、石川、長野、福井、岐阜、静岡、三重)を対象に、本県内の旅行商品等に一定の補助金を拠出。

✓ 実施期間

2022.5.19-10.10(2022.10.11 チェックアウト分含む)

*感染拡大に伴い 2022.1 から停止していた。

✓ 補助対象 旅行会社

✓ 支援内容

県内旅行商品の代金の 2 分の 1(1 人 1 回あたり最大 5,000 円)を補助することにより、旅行代金の低廉化を支援。

✓ 利用者人数/交付額 134,758 人/647,225,000 円



【全国旅行支援「いいじゃん、あいち旅キャンペーン」】(国際観光コンベンション課)

- ・ 全国から訪れる県内旅行者を対象に、宿泊代金や旅行商品代金の販売支援金の給付及び地域限定クーポン「いいじゃんクーポン」の配布を行う「いいじゃん、あいち旅キャンペーン」を実施。

《実績》

- いいじゃん、あいち旅キャンペーン第1弾
 - ✓ 実施期間 2022.10.11-12.27
(2022.12.28 チェックアウト含む)
 - ✓ 割引率 40%上限
 - ✓ 割引上限額(一泊当たり)
交通付旅行商品 8,000 円、左記以外 5,000 円
 - ✓ クーポン 平日 3,000 円、休日 1,000 円
 - ✓ 宿泊者数/宿泊支援額とクーポン利用額の試算合計(クーポン発行枚数による想定)
1,539,794 人/11,328,264,458 円
- いいじゃん、あいち旅キャンペーン 第2弾
 - ✓ 実施期間 2023.1.10-6.30(2023.7.1 チェックアウト含む)
 - ✓ 割引率 20%上限
 - ✓ 割引上限額(一泊当たり)
交通付旅行商品 5,000 円(一泊当たり)、左記以外 3,000 円
 - ✓ クーポン 平日 2,000 円、休日 1,000 円



③国・地域の実情に応じた訪日旅行の回復施策

【海外観光レップ】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 海外の現地事情に精通した「観光レップ」を 6 か国(タイ、ベトナム、インドネシア、アメリカ、フランス、オーストラリア)に設置し、現地旅行会社・メディアへのセールス活動や現地市場調査、メディア及び旅行会社を対象にしたセミナーを開催(詳細 P21)。

(2)旅行スタイルの変化への対応と観光コンテンツの高付加価値化

①新しい旅行スタイル(ワーケーション・ブレジャーなど)への対応

【宿泊事業者高付加価値化促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 宿泊事業者がワーケーションやブレジャー受入等のため、県内の宿泊施設のリノベーション等により高付加価値化を図る取組を支援 (詳細 P25)。

【ワーケーション・ブレジャーの受入態勢の強化】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ ワケーションに関するミーティング(勉強会)の開催。

②オンラインによる観光振興

【愛知のお城観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 旅マエの来訪意欲の喚起(著名人の起用)、旅ナカの体験コンテンツとしての高付加価値化(ガイドコンテンツによる旅体験の補完)、旅アトの再訪意欲の喚起(複数箇所での発信による周遊促進)を目的としたVRコンテンツによる城郭・城址のPRを実施。

《実績》

コンテンツ作成実績:3 本

3 2023 年度の主要な観光振興施策

2023 年度は、「あいち観光戦略 2021-2023」の最終年度となる。「あいち観光戦略 2021-2023」に掲げる「施策の柱」に係る主な施策は、以下のとおりである。

柱 1 あいち「ツウ」リズムの推進

(1) 愛知ならではの「ツウ」な魅力向上

① 地域資源の着地型観光プログラム化の促進

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課)

- ・ 市町村ミーティング等において、市町村や地域観光協会等と意見交換を行い、地域資源の発掘等を実施。

② 旅行者の興味・関心に合わせた着地型観光プログラムの開発促進

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 地域資源の観光プログラム化を考える地域の主体(市町村、観光協会、観光事業者)に対し、コンサルティングを施し、売れる観光プログラムの造成を支援。

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課)

- ・ 過去 2 年で取り上げた 5 つのテーマ(歴史、自然、産業、食文化、山車・祭・伝統文化)に関する既存のガイドプログラムを中心に、有識者によって更なる品質向上(シナリオ化)を図る。

③ 「ツウ」なテーマごとの市町村境・県境を越えた連携・周遊の促進

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課)

- ・ ジブリパーク来園者やスタジオジブリ作品のファン向けに観光プログラムを造成し、周遊を促進。

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課)

- ・ 交通事業者との連携による大規模な周遊キャンペーンを実施することにより県内周遊を促進する。また、誘客した観光客の玄関口である名古屋駅に周遊のハブ拠点としてインフォメーションセンターを設置。
- ・ 大河ドラマ展開催費:名古屋城に会場した観光客に向けて、金シャチ横丁義直ゾーンにおいて、NHK と連携してパネルや撮影で使用の衣装等の展示をするとともに、県内の徳川家康ゆかりの地や岡崎市に開館中の大河ドラマ館を PR することにより、関連観光施設への送客。
- ・ 岐阜県、静岡県と連携したキャンペーンを実施することにより、広域周遊を促進。

【離島の振興】(地域振興室)

- ・ 離島の魅力発信及び関係人口の持続化・深化に向けた取組の推進。

【三河山間地域の魅力発信】(地域振興室)

- ・ 三河山間地域の魅力発信及び関係人口の拡大に向けた取組の推進。

【食と花の街道】(農業振興課)

- ・ 「いいともあいち食の街道」、「花の王国あいちフラワー街道」の魅力を広く PR することにより、都市と農村の交流人口の増加を促進。

④「ツウ」な魅力の多言語化

【海外誘客情報活用推進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 言語ごとに関心の高いコンテンツを掲載した特設サイトのコンテンツ拡充・更新。

【新規事業】アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 旅行会社向けのプロモーション(訪問先:韓国・中国・台湾・香港(4か国・地域)の主要旅行会社)。
- ・ 一般旅行者向けの情報発信(メディア・インフルエンサーの招請)。

⑤各分野の専門家と連携した魅力の磨き上げ

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 感動レベルの体験コンテンツを商品化・販売するため、プロのシナリオライターのアドバイスを受けながらガイドツアーの作成。

⑥歴史的遺産や文化財等の観光資源としての活用の促進

【山車まつりの保存・継承・魅力発信】(文化財室)

- ・ あいち山車まつり日本一協議会による山車文化の魅力の発信。

【「文化財ナビ愛知」を通じた文化財情報の発信】(文化財室)

- ・ 「文化財ナビ愛知」を通じた文化財情報の発信。

⑦産業博物館や文化・芸術施設の観光資源としての活用の促進

【あいち航空ミュージアムの運営】(航空空港課)

- ・ あいち航空ミュージアムにおいて、時機を捉えたイベントの企画やコンテンツの継続的な更新を実施。

⑧地域の歴史、産業、自然、文化等をテーマとした、県民向けの学習機会の提供

【伝統文化出張講座】(文化財室)

- ・ 小・中学校の授業等で、地域の民俗芸能保存団体と交流し、芸能の鑑賞だけでなく、体験・練習及び発表を通じて伝承活動を支援。

⑨「ツウ」な魅力を伝えるガイドの育成

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 感動レベルの体験コンテンツを提供できるプロフェッショナルガイドを育成。

(2)効果的なPR・プロモーション

①デジタルマーケティングの実施

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課)

- ・ 県内観光資源の来訪者に関する「属性」「周遊性」のデータを収集し、データに基づいた観光動態に関する分析調査を実施。

②運輸機関(鉄道・航空・空港・高速道路会社等)・旅行業者との連携

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ JR東海と連携し、地域資源を活かした「冷やし旅」キャンペーンを開催。
- ・ 旅行会社等に対して観光プログラムを組み込んだ旅行商品の造成を促すため、セールス活動を実施。

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 交通事業者との連携による武将観光をテーマとした県内周遊キャンペーンの実施。
- ・ JR名古屋駅にインフォメーションセンターを設置し、大河ドラマをきっかけに来県した観光客の周遊を促進。

③メディアへの情報発信、メディアとの連携

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・名古屋城に来場した観光客に向けて、金シャチ横丁義直ゾーンにおいて、NHK と連携してパネルや撮影で使用の衣装等を展示。

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(観光振興課)

- ・メディア向けサブサイト「Aichi Now PRO」にて、メディアに対し情報を発信。

④SNS、web を活用した情報発信

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

- ・web 広告によるPR、特設サイトによる情報発信。

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・web 広告によるPR、特設サイトによる情報発信。

【新規事業】首都圏等における観光情報発信力強化】(観光振興課)

- ・旅行需要回復期に合わせ YouTube 動画広告による広告配信を実施。

【海外誘客情報活用推進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・特設サイトの web 広告を配信、閲覧者の属性データ等を収集・分析。

【新規事業】アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・一般旅行者向け情報発信(メディア・インフルエンサーの招請)。

⑤首都圏・関西圏でのプロモーション

【首都圏・関西圏プロモーション推進(愛知の観光物産展開催)】(観光振興課)

- ・愛知の観光物産展を継続開催し、他局・市町村・事業者とも連携して効果的に首都圏・関西圏在住者に向けて県内の物産・観光の魅力をPR。

【新規事業】首都圏等における観光情報発信力強化】(観光振興課) -再掲-

- ・旅行需要回復期に合わせ首都圏都圏・関西圏のデジタルサイネージで観光動画を放映。

⑥観光PRキャラクターを活用したPR

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ロゴマーク及びキャラクターを制作し、PRに活用するとともに、観光土産品の販売促進を実施。

⑦海外観光レップを活用したPR・プロモーション

【海外観光レップ】(国際観光コンベンション課)

- ・海外の現地事情に精通した「観光レップ」を4か国に設置し、現地旅行会社・メディアへのセールス活動や現地市場調査等を実施。

⑧「ツウ」なテーマに特化したイベントの開催・出展・支援

【サムライ・ニンジャフェスティバル開催】(観光振興課)

- ・全国に類を見ないほど武将観光資源に恵まれた本県の特性について、認知度を高めるため、全国の武将隊や忍者隊等が集結するイベントを開催。

【歴史観光推進事業】(観光振興課)

- ・全国最大規模の城郭イベント「お城 EXPO」へ出展。
- ・本県でお城 EXPO と連携した城郭イベント「にっぽん城まつり」を開催。

【新規事業】あいちの自然観光フェア】(観光振興課)

- ・Aichi Sky Expo にて開催が予定されている日本最大級のアウトドアイベント「FIELDSTYLE」に併催するイベントとして、DESTINATION AICHI を開催。

【新規事業】フランス観光客誘致促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ フランスで開催されるヨーロッパ最大級の日本文化を広く紹介するためのイベント「Japan Expo」へ出展し、フランス人の関心が高く、愛知の観光魅力の強みである歴史・伝統文化やポップカルチャー等をPRし、認知度向上とさらなる旅行消費額の増加及びフランス人の誘客促進を図る。知事によるトッププロモーションを実施。

柱2 受入れ体制の整備・充実

(1)多言語化の促進等による利便性の向上

①宿泊施設や立ち寄り施設等の多言語化の支援

【多言語コールセンター運営】(国際観光コンベンション課)

- ・ 利用登録した観光関係事業者に対し、外国語による施設案内表示等に対する翻訳サービスを提供。

②案内標識・案内板等の多言語化の促進

【観光施設費等補助金】(観光振興課)

- ・ 市町村が設置する観光施設の観光案内板・誘導標識等の多言語化に対する補助事業を実施。

③接客現場における多言語対応の支援

【多言語コールセンター運営】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 利用登録した観光関係事業者に対して、外国人旅行者との接客時における電話等を利用した通訳サービスを提供。

(2)多様な旅行・宿泊ニーズへの対応

①高級ホテルの誘致

【高級ホテル立地促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 補助事業として認定したホテルのうち、開業後に補助金交付申請のあったホテルに対し、交付決定後に補助金を交付。

②ワーケーション・プレジャー客の取り込み

【テレワーク・ワーケーションの促進】(地域振興室)

- ・ 三河山間地域におけるワーケーション等の促進のため、企業等を対象とした実証実験を実施。

【離島のワーケーション等推進】(地域振興室)

- ・ 離島でのワーケーション・スタディケーションの実証実験及び参加者と島民との交流の実施。

③宿泊施設の高付加価値化

【宿泊事業者高付加価値化促進】(観光振興課)

- ・ 宿泊事業者に対し、県内の宿泊施設の高付加価値化を図る取組を支援する。

(3)ユニバーサルツーリズムの推進

バリアフリー化への支援

【観光施設費等補助金】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村が設置する観光施設のバリアフリー化に対する補助事業を実施。

(4)旅行者の安全・安心の確保

災害時における外国人旅行者への多言語での情報発信

【多言語コールセンター運営】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 災害発生時、訪日外国人への情報提供手段として通訳サービスを提供。

柱 3 観光交流拠点としての機能強化

(1)周遊観光・広域観光の推進

①交通結節点からの周遊観光・広域観光の推進

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ JR東海と連携し、新幹線駅からの周遊観光を促す「冷やし旅」キャンペーンを開催。

②ジブリパークを活用した誘客、周遊観光の促進

【ジブリパーク構想地域連携協議会の活動の推進】(ジブリパーク推進課)

- ・ 2023年度中に第2期エリアが開園するジブリパークを核に、愛・地球博記念公園周辺の自治体及び鉄道事業者が一体的・有機的な連携を図り、地域活性化に向けた協力関係を構築することで、ジブリパークを活かした周辺地域の更なる発展・活性化を推進。

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ ジブリパーク来園者のデータ統計データ等を提供するサイトの運用。
- ・ 特設サイト「ジブリパークのある愛知への旅」の構築・運営、特設サイトで販売する観光プログラムの造成。
- ・ キービジュアル／動画『風になって遊ぼう。』を活用したPR。

③中央日本総合観光機構や東海地区外国人観光客誘致促進協議会の広域連携事業体を通じた取組の推進

【中央日本総合観光推進機構】(国際観光コンベンション課)

- ・ 中部 9 県の自治体・観光関係事業者と連携し、コンテンツ・パッケージ・プラットフォーム事業、データ・マネジメント・プラットフォーム構築事業、エリア内連携事業を実施。

【東海地区外国人観光客誘致促進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ 東海 4 県 2 市と連携し、プロモーション事業を実施。
- ・ 愛知県内の市町と連携し、プロモーション事業を実施。

④近隣県を含んだ周遊の促進

【観光資源連携推進】(観光振興課)

- ・ 本県の武将観光施設及び産業観光施設への集客増と広域誘客を図るため、隣接の岐阜県と連携してスタンプラリーを実施。

⑤アジア・アジアパラ競技大会の開催を見据えた周遊観光・広域観光の検討

【新規事業】アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 旅行会社向けプロモーション(韓国・中国・台湾・香港(4か国・地域)の主要旅行会社)の実施。
- ・ 一般旅行者向けの情報発信(メディア・インフルエンサーの招請)。

(2)航空路線・外航クルーズ船の誘致

①エアポートセールス等を通じた航空路線の復活・誘致

【エアポートセールス等を通じた航空路線の復活・誘致】(航空空港課)

- ・ 航空ネットワークの早期回復及び拡充に向けエアポートセールスを実施。

②ポートセールス等を通じた外航クルーズ船の誘致

【クルーズ船誘致促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 名古屋港、三河港へのクルーズ船の誘致を実施。

(3)モビリティ・マネジメント

公共交通を用いた周遊ルートの提案、二次交通の充実/異なる交通事業者をまたぐ移動の円滑化の促進/MaaSの普及促進

【マルチモーダルサービス導入実証】(交通対策課)

- ・ 名古屋東部丘陵地域及び知多地域を中心とする地域を対象とした MaaS の導入に向けた実証実験の実施。

柱 4 MICE の誘致・開催、Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)の活用

(1)国際会議・展示会の誘致・開催

①国内外の見本市への出展

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ アジア最大級の MICE 商談会「IT&CM Asia」(タイ・バンコク)への出展。
- ・ 国内 MICE 見本市「第 33 回国際 MICE エキスポ (IME2024)」への出展。
- ・ 国内 MICE 商談会「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2023」への出展。

②グローバル・インダストリー日本版の開催支援

【グローバル・インダストリー日本版開催支援事業】(産業振興課)

- ・ 産業界への出展働きかけ等の実施。
- ・ 県内企業の展示、県の施策 PR、講演・セミナー等を行う県ブースの出展。

③Aichi Sky Expo の活用

【展示会産業振興基金 官民連携組織運営[官民連携による需要創造]】(国際展示場室)

- ・ 地域プロモーションの実施。
- ・ 催事の開催支援。
- ・ 展示会等の企画・開催。

【新規事業】スマート シティ パーク フロム アキシア エキスポ Smart City Park from AXIA EXPO開催】(国際展示場室)

- ・ 2024年6月に Aichi Sky Expo で開催される新たな産業展示会「AXIA EXPO 2024」の開催気運の醸成を図るため、スマートシティをテーマとした小規模な産業展示会を開催する。

④国際会議等の誘致

【日台観光サミット推進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 2023年に本県で開催される「2023 日台観光サミット in 愛知」において、本県主催で歓迎晩餐会、昼食・夕食交流会、エクスカージョン等を実施。

(2) イベントの誘致・開催

① ツーリズム EXPO ジャパンの誘致

【ツーリズム EXPO ジャパンの誘致】(国際観光コンベンション課)

- ・ 国内最大の旅行博である「ツーリズム EXPO ジャパン」の 2024 年以降の開催を誘致。

② 技能五輪国際大会の招致

【技能五輪国際大会の招致】(技能五輪・アビリンピック推進室)

- ・ 全国大会の3年連続開催(2023～2025)、国際大会の招致機運を盛り上げるイベントを開催。

③ 愛知万博 20 周年記念事業の開催

【愛知万博 20 周年記念事業準備】(愛知万博 20 周年記念事業推進室)

- ・ 愛知万博開催 20 周年を迎える 2025 年に、愛・地球博記念公園において、記念事業を実施するため、実施計画を策定するとともに、各種広報を実施。

(3) インセンティブツアーの誘致

国内外の見本市への出展

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ アジア最大級の MICE 商談会「IT&CM Asia」(タイ・バンコク)への出展。
- ・ 国内 MICE 見本市「第 33 回国際 MICE エキスポ (IME2024)」への出展。
- ・ 国内 MICE 商談会「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2023」への出展。

(4) スポーツ大会の招致・開催

第 20 回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)・第 5 回アジアパラ競技大会の開催に向けた準備

【第 20 回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)・第 5 回アジアパラ競技大会の開催準備】

(アジア・アジアパラ競技大会推進課)

- ・ 第 20 回アジア競技大会・第 5 回アジアパラ競技大会の開催(2026 年)に向け、組織委員会を中心に、開催都市である本県及び名古屋市や関係市町村等との調整を図りながら、開催準備を実施。

柱 5 持続可能な観光の実現

(1) 「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」の普及

「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」普及セミナーの開催

【観光まちづくり推進】(観光振興課)

- ・ 「持続可能な観光」をテーマとしたセミナーの開催。

(2) 観光人材の確保・育成

地域の魅力を伝えられる人材の育成

【観光まちづくり推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 「観光まちづくりゼミ」の取組を通じて、地域で観光まちづくりに取り組む人材を育成。

(3) 観光需要の平準化

愛知県「休み方改革」プロジェクトの推進

【新規事業】観光需要平準化促進】(観光振興課)

- ・ 愛知県「休み方改革」イニシアチブ、混雑を回避した旅行を促す「あいちスキ旅キャンペーン」を周知するためPRの実施。
- ・ 「あいち県民の日(11月27日)」「あいちウィーク(11月21日～27日)」及び「あいちウィーク」期間中の協賛事業の情報を発信。
- ・ 雑誌を通じた観光需要平準化のPRの実施
- ・ 有給休暇の取得を促すとともに、家族と子供と一緒に過ごせる機会を提供するため、「あいちウィーク」期間中の平日に愛知県に根差した歴史・産業・自然・文化の魅力を発見し、理解を深める県民向けの「あいちの魅力発見バスツアー」を実施。



【新規事業】あいち県民の日・あいちウィークPR】(県民総務課)

- ・ 県政150周年を契機に創設した「あいち県民の日」を県民に広く周知・啓発するとともに、「あいちウィーク」において、その趣旨を踏まえたイベントを実施。

【新規事業】有給休暇取得促進】(労働福祉課)

- ・ 年次有給休暇の取得及び多様な特別休暇の導入を積極的に推進している中小企業等を奨励する「休み方改革マイスター企業認定制度」を創設。

【新規事業】ラーケーションポータルサイトの開設】(義務教育課)

- ・ ラーケーションを計画する子供や保護者に対して、ラーケーションの目的や県内の学び体験スポットなどを紹介するポータルサイトを開設。

【新規事業】県民の日学校ホリデー・ラーケーションの日】

(高等学校教育課、義務教育課、特別支援教育課)

- ・ 「県民の日学校ホリデー」: 愛知県の公立学校(幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校)はあいちウィーク期間中の1日を指定して休業日とする。
- ・ 「ラーケーションの日(校外学習活動の日)」: 子供たちが保護者等とともに校外(家庭や地域)で体験や探究の学び・活動を考え、企画し、実行することができる「ラーケーションの日」を設け、導入に向けた環境整備を図る。

柱6 ウィズコロナ・ポストコロナへの対応

【全国旅行支援「いいじゃん、あいち旅キャンペーン」】(国際観光コンベンション課)

- ・ 全国から訪れる県内旅行者を対象に、宿泊代金や旅行商品代金の販売支援金の給付及び地域限定クーポン「いいじゃんクーポン」の配布を行う「いいじゃん、あいち旅キャンペーン」を実施。

(参考)あいち観光戦略推進委員会

愛知県観光振興基本計画に定められた観光振興に関する施策の 2022 年度の実施状況に関する議会への報告及び公表にあたり、2023 年 9 月 14 日(木)に、下表の委員で構成する「あいち観光戦略推進委員会」を開催し、当該実施状況や今後の施策展開に対するご意見をいただいた。

(五十音順・敬称略)

氏名	所属・役職	出欠
袁 静	株式会社行楽ジャパン 代表取締役社長	出席
◎大澤 健	国立大学法人和歌山大学経済学部 教授	出席
クリス・グレン	有限会社パスト・プレゼント・フューチャー 代表取締役	出席
鈴木 康生	名古屋市観光文化交流局観光交流部長	出席
中津 功	一般社団法人日本旅行業協会 中部支部 事務局長	出席
西原 浩二	一般社団法人全国旅行業協会 愛知県支部 事務局長	出席
西村 哲治	公益社団法人日本観光振興協会 中部支部 事務局長	欠席
二神 真美	名城大学 名誉教授	出席
山口 司	一般社団法人日本ホテル協会 中部支部 事務局長	出席
○横山 陽二	東海学園大学ともいき教養教育機構・経営学部 客員教授	出席

◎…委員長、○…副委員長

2023 年度版
あいち観光戦略に基づく観光振興施策の実施状況
(2022 年度年次報告書)
2023 年 10 月発行

作成・発行
愛知県観光コンベンション局観光振興課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号
電 話 052-954-6353
FAX 052-973-3584
メール kanko@pref.aichi.lg.jp
web <https://www.pref.aichi.jp/kanko/>